

平成28年11月25日

安曇野市教育委員会

平成28年11月定例会

会 議 議 案

安曇野市教育委員会

| | |
|---------------------|--------|
| 議案第 1 号 | 教育部 各課 |
| 平成 28 年 11 月 25 日提出 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------|----|-----|-------|----|-----|-----|----|-----|--------|----|-----|---------|--|--|
| タイトル | 共催・後援依頼について | | | | | | | | | | | | | | | |
| 決定を要する事項の内容 | 教育委員会の共催・後援依頼についての協議 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 要旨 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">学校教育課</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">後援</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">1 件</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課</td> <td style="text-align: center;">後援</td> <td style="text-align: center;">1 件</td> </tr> <tr> <td>文化課</td> <td style="text-align: center;">後援</td> <td style="text-align: center;">1 件</td> </tr> <tr> <td>図書館交流課</td> <td style="text-align: center;">共催</td> <td style="text-align: center;">1 件</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(詳細 別紙)</td> </tr> </table> | 学校教育課 | 後援 | 1 件 | 生涯学習課 | 後援 | 1 件 | 文化課 | 後援 | 1 件 | 図書館交流課 | 共催 | 1 件 | (詳細 別紙) | | |
| 学校教育課 | 後援 | 1 件 | | | | | | | | | | | | | | |
| 生涯学習課 | 後援 | 1 件 | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化課 | 後援 | 1 件 | | | | | | | | | | | | | | |
| 図書館交流課 | 共催 | 1 件 | | | | | | | | | | | | | | |
| (詳細 別紙) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第 2 条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第 3 条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第 4 条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第 1 項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第 2 項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |

教育部 学校教育課 共催・後援台帳(平成28年度11月定例会協議事項)

| No. | 受付日 | 所管 | 件名 | 申請者 | 主催者 | 種別 | 申請理由 | 申請日 | 開催日 | 承認 | 承認日 | 会場 | 開催目的(趣旨) | 開催内容 | H25 | H26 | H27 | 所管課 意見 |
|-----|----------|------|--------------------------------|--------------------------|-----------------------------|----|--|--------|--------|----|-----|----------------------------|--|---|-----|-----|-----|----------------------|
| 22 | H28.11.4 | 学校教育 | 第2回 北原延寛先生 長野英語指導力向上講 演会 | 特定非営利活 動法人 夢こと もの翼 | 特定非営利 活動法人 夢こともの 翼 | 後援 | 広く長野を始めと する英語の先生 方に周知してい ただき、指導法 向上に役立てて ほしいため。 | 10月30日 | 12月10日 | | | 小諸市 小諸 プラザ 市民 交流センター | ①今後予想されるグローバル化の中で、児童・生徒たちが、ディベート・スピーチ・英会話など英語を使えるようになる指導法 ②そのための小学校、中学校、高校の連携をより効果的に行うためのポイント、それに付随する教材研究の仕方、授業力向上 ③道段の授業で困っている先生やより授業を向上させたいと考えている先生方へ情報や指導法を伝え、教師の英語指導力を向上させるため。 | (1)小中学生が英語を話せるようになるための英語指導法を優れた英語力をもつ生徒を育てる赤坂中学校の北原延寛先生より学ぶ (2)口頭ですらすらと話せるようになる即興の会話指導の紹介 (3)小・中・高連携ポイント (4)長野県の教科書を用いて、明日から授業にすぐに応用できる指導法と授業展開の紹介 | - | - | - | 基準第3 条第2項 により可 |

教育部生涯学習課共催・後援台帳(平成28年度11月定例会協議事項)

| No. | 受付日 | 所管 | 件名 | 申請者 | 主催者 | 種別 | 申請理由 | 申請日 | 開催日 | 承認 | 承認日 | 会場 | 開催目的(趣旨) | 開催内容 | H27 | H26 | H25 | 所管課 意見 | |
|------|----------|------------|-------------------------|-------------|--------------|----|------------------------------|-------|------------------|----|-----|----|------------------|--|---|-----|-----|-----------|----------------------|
| 1027 | H28.11.7 | 社会教 青担当 | 横山タカ子講演会及び 一汁三菜の調理講座 | 食の寺子屋 食部 | 食の寺子屋 給食部 | 後援 | チラシ配布先及 び宣伝活動範囲 拡大のため。 | 11月7日 | 平成28年2 月3日(金) | | 月 | 日 | 池田クラフト パーク創造館 | 料理研究家による講演会及 び調理実習(一汁三菜の ワークショップ)を通して市民 の食への関心を高め、地域 の健康活性化を目指す。 | 講演会及び調理講 座 講師:横山 タカ子 さん(料理研究家) | - | - | - | 基準第3 案第2項 により可 |

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成28年度11月定例会協議事項)

| No. | 受付日 | 所管 | 件名 | 申請者 | 主催者 | 種別 | 申請理由 | 申請日 | 開催日 | 承認 | 承認日 | 会場 | 開催目的(趣旨) | 開催内容 | H27 | H26 | H25 | 所管課 意見 |
|-----|----------|----|------------|---------------|---------------|----|--|-------|------------------------|----|-----|------------------------|--|--|-----|-----|-----|----------------------|
| 76 | H28.11.1 | 文化 | 世界一の口笛ショー♪ | あずみ野子ども 劇場 | あずみ野子ども 劇場 | 後援 | 地域の多くの人々に 優れた児童文化に接 する機会を提供し、交 流を通して人のつな がりを広めたい。子ど もに体験を通して感情 性豊かな心を育んで 欲しい。 | 11月1日 | 平成28年 12月18日 (日) | | | 安曇野市穂高 公民館 視聴 覚室 | 口笛世界チャンピオンの高 木満理子さんとシンセイ ザー奏者の細川佳那枝さん の音楽ショーを楽しむ。 | 口笛とシンセイザーのコ ンサート。 入場料:会員会費で賄う(一 般チケット1人3000円) ※申請団体については平 成17年から後援している が、この開催内容での申請 は初めて。 | - | - | - | 基準第3 条第2項 により可 |

教育部 図書館交流課 共催・後援台帳(平成28年度11月定例会協議事項)

| No | 受付日 | 所管 | 件名 | 申請者 | 主催者 | 種別 | 申請理由 | 申請日 | 開催日 | 承認 | 承認日 | 会場 | 開催目的(趣旨) | 開催内容 | H25 | H26 | H27 | 所管課 担当 |
|----|-----------|------------|--|------------------------|-------------|----|---|--------|-----------------------|----|--------|-------------------------------------|--|--|-----|-----|-----|----------------------|
| 1 | H28.11.15 | 図書館 交流課 | 平成28年度著作権講座 —自分で判断できる“マ インド”を育む— | 県立長野図書 館 館長 平賀研也 | 県立長野図 書館 | 共催 | レファレンス、複写等 の図書館サービスを 行う上で著作権法に 係る知識は、図書館 職員等に不可欠であ ることから、共催によ り職員の資質の向上 を図るもの。 | 11月15日 | 平成29年 2月10日 (金) | | 月 日 | 豊科交流学習 センター「まほ う」多目的交 流ホール | 図書館と密接に関わる「著 作権法」について、その理念 や基本的な法解釈、判例等 を学ぶ、利用者の「知る」学 ぶ」を適切に支援できる人 材・環境づくりを目指す。 | 講師：国立国会図書館 南 亮二氏 対象：県内公共図書館職 員、学校図書館関係者、生 涯学習行政に携わる行政 職員等100人 参加費：無料 | - | - | - | 基準第3 条第1項 により可 |

平成 28 年 11 月 25 日開催

安曇野市教育委員会 11 月定例会当日配布資料

【教育委員会定例会提出資料】

| | |
|---------------------|-----------------------|
| 議案第 2 号 | 教育部 図書館交流課 |
| 平成 28 年 11 月 25 日提出 | (課長)高嶋 俊明 (担当係長)細田 昌伸 |

| | |
|-------------|--|
| タイトル | 第 2 次安曇野市図書館基本計画策定に伴うアンケートについて |
| 決定を要する事項の内容 | アンケートの実施について |
| 要旨 | 第 2 次計画の策定にあたり、これからの図書館ニーズの把握のため、市民、利用者、児童生徒等にアンケートを実施するもの |
| 説明 | <p>1 経過等</p> <p>H28. 7. 26 教育委員会 7 月定例会で第 2 次計画（平成 30 年度～平成 39 年度）の策定等を決定</p> <p>H28. 9. 29 図書館協議会で第 2 次計画の策定について協議</p> <p>2 対象、実施方法及び実施期間</p> <p>(1) 市民アンケート</p> <p>ア 対 象：16 歳以上の無作為抽出した市民 2, 500 人</p> <p>イ 実施方法：依頼文及び調査票を郵送配布、返信用封筒で回収</p> <p>ウ 実施期間：平成 28 年 12 月中旬からの 2 週間</p> <p>(2) 利用者アンケート</p> <p>ア 対 象：公共図書館 5 館の利用者</p> <p>イ 実施方法：調査票を記載台に置き、館内の回収箱で回収</p> <p>ウ 実施期間：平成 28 年 12 月中旬から概ね 1 カ月間</p> <p>(3) 児童生徒アンケート</p> <p>ア 対 象：市内 17 校の小学校 6 年生及び中学 2 年生、各校 1 クラスの児童生徒 約 500 人</p> <p>イ 実施方法：学校長に対象クラスの選定、調査票の配布と回収を依頼</p> <p>ウ 実施期間：平成 28 年 12 月中旬から概ね 2 週間</p> <p>3 調査票(案) 別添</p> <p>4 今後の予定</p> <p>平成 28 年 12 月 2 日開催の図書館協議会へ協議後、実施していきます。</p> |

安曇野市 図書館サービス向上のためのアンケート調査
＜市民のみなさまへ ～ ご協力をお願い＞

安曇野市教育委員会では、今後の図書館運営等を定める図書館基本計画を策定し、図書館サービスの向上を図るため、アンケート調査を実施することになりました。

多くの市民のみなさんに使いやすい図書館を実現するため、お忙しいなか大変恐縮ですが、ぜひご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

回答は、該当する項目の番号を○で囲んでください。なお、この調査は無記名で、調査結果はすべて統計的に処理いたします。

平成28年12月 安曇野市教育委員会

【あなた（回答者ご本人）についておたずねします。】（あてはまる番号に1つだけ○を）

| | | | |
|-------|--------------|------------|-----------|
| ◇性別 | 1. 男性 | 2. 女性 | |
| ◇年齢 | 1. 16～17歳 | 2. 18～19歳 | 3. 20～29歳 |
| | 4. 30～39歳 | 5. 40～49歳 | 6. 50～59歳 |
| | 7. 60～69歳 | 8. 70～79歳 | 9. 80歳以上 |
| ◇居住地域 | 1. 豊科 | 2. 穂高 | 3. 三郷 |
| | 4. 堀金 | 5. 明科 | |
| ◇職業 | 1. 会社員・公務員 | 2. 自営業・自由業 | |
| | 3. パート・アルバイト | 4. 家事専業 | |
| | 5. 学生・生徒 | 6. 無職 | 7. その他 |

【あなたの読書環境についておたずねします】（あてはまる番号に1つだけ○を）

| | | | |
|--------------------------------------|---------------|----------------|-----------|
| 問1 あなたは、本や雑誌を1ヶ月に平均何冊くらいお読みになりますか | 1. 1～2冊 | 2. 3～4冊 | 3. 5～6冊 |
| | 4. 7～10冊 | 5. 11冊以上 | 6. 全く読まない |
| 問2 あなたは、本・雑誌等を主にどのような方法で入手あるいは利用しますか | 1. 書店・コンビニで購入 | 2. インターネットで購入 | |
| | 3. 公共図書館でかりる | 4. 学校図書館でかりる | |
| | 5. 家族・友人からかりる | 6. 入手も利用もしない | |
| | 7. その他（ ） | | |
| 問3 あなたは、知りたいことがある時、どのような方法で調べますか | 1. 書店・コンビニで探す | 2. インターネットで調べる | |
| | 3. 公共図書館で調べる | 4. 学校図書館で調べる | |
| | 5. 家族・友人などに聞く | 6. その他（ ） | |

【あなたの公共図書館利用についておたずねします】(あてはまる番号に1つだけ○を)

| | |
|---|---|
| 問4 普段、図書館をどのくらい利用(来館)していますか | 1. 毎日(ほぼ毎日) 2. 週に1~2回 3. 2~3週間に1回 4. 月1回程度 5. 時々(年に数回程度) 6. 利用しない |
| → 「6」を選ばれた方は、問14へ | |
| 問5 図書館を利用する主な目的はなんですか | 1. 仕事や研究 2. 知識や教養の向上 3. 社会のできごとを知る 4. 学校の勉強 5. 趣味・娯楽など、生活の質を向上させる 6. その他() |
| 問6 普段、最も利用している図書館はどこですか | 1. 中央図書館 2. 豊科図書館 3. 三郷図書館 4. 堀金図書館 5. 明科図書館 6. その他() |
| 問7 どのような方法で図書館へ来ますか | 1. 徒歩 2. 自転車・バイク 3. 公共交通機関 4. 自家用車 5. その他() |
| 問8 よく利用する曜日は何曜日ですか | 1. 火曜日 2. 水曜日 3. 木曜日 4. 金曜日 5. 土曜日 6. 日曜日 |
| 問9 よく利用する時間帯はいつですか | 1. 午前 2. 午後 3. 午後5時以降 4. 特に決まっていない |
| ※平日は中央図書館のみ午前9時から午後8時まで、それ以外の図書館は午前10時から午後6時まで開館 ※土日・祝日は全館午後6時まで開館 | |
| 問10 図書館にどのくらいの時間、滞在されますか | 1. 30分未満 2. 1時間以内 3. 1~3時間 4. 3~5時間 5. 5時間以上 |

問11 あなたは、公共図書館のサービスをどのように利用していますか。利用内容ごとにひとつずつ、利用状況を選び数字に○をしてください。

※項目サ、ス、セ、ソについては、利用できる図書館は三郷以外です。(対象館以外は、記入不要)

※項目シについては、利用できる図書館は、中央のみです(対象館以外は記入不要です)

| | 利用内容↓ | 利用状況→ | | | | | |
|---|------------------------|---------|---------|---------|-----------|-------|--------|
| | | いつも利用する | 比較的利用する | たまに利用する | 利用したことがある | 利用しない | 知らなかった |
| ア | 図書館にある本や雑誌・視聴覚資料などを借りる | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ | 本や雑誌、視聴覚資料の予約をする | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ | 館内の利用者検索機(OPAC)等を使う | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

| | 利用状況→ | いつも利用する | 比較的利用する | たまに利用する | 利用したいがある | 利用しない | 知らなかった |
|---|-------------------------------------|---------|---------|---------|----------|-------|--------|
| | 利用内容↓ | | | | | | |
| エ | 他の図書館にある本や雑誌を取り寄せてもらう | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オ | 図書館の本を館内で読む | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| カ | 図書館の新聞・雑誌を館内で読む | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| キ | 図書館の資料を使って調べものをする | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ク | 本や調べものについて、職員に相談する（レファレンス） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ケ | 図書館の資料をコピーする | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| コ | おはなし会や講演会・講座などの催し物に参加する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| サ | 図書館のパソコンでインターネットを利用する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| シ | 新聞記事検索、法令情報検索、農業出版物検索などのデータベースを利用する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ス | 図書館の持込みパソコン席を利用する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| セ | 視聴覚（AV）コーナーを利用する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ソ | 図書のリサイクルコーナーを利用する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| タ | 市・その他の情報を知る | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問12 公共図書館の施設・資料についての満足度をうかがいます。施設・資料の内容ごとにひとつずつ、満足度を選び数字に○をしてください。

| | 満足度→ | 非常に満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 非常に不満 | わからない |
|---|-------------------|-------|------|---------|------|-------|-------|
| | 施設・資料の内容↓ | | | | | | |
| ア | 大人向けの図書 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ | 子ども向けの図書 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ | 雑誌 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ | 新聞 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オ | 参考図書（辞典類） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| カ | 視聴覚資料（CD・DVD・ビデオ） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| キ | 図書館の施設・設備 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ク | 市・その他の情報を知る | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問13 図書館のサービスについての満足度をうかがいます。一番利用するサービス内容ごとにひとつずつ、満足度を選び数字に○をしてください。

| | | 満足度→ | | | | | |
|---------|----------------------------------|-------|------|---------|------|-------|-------|
| サービス内容↓ | | 非常に満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 非常に不満 | わからない |
| ア | 開館時間 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ | 休館日(月曜日) | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ | 祝日の翌日及び館内整理日(月1回)を休館としていること | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ | 資料貸出点数(図書10点以下、AV資料3点以下、紙芝居2点以下) | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オ | 資料貸出期間(2週間以内) | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| カ | 予約・リクエストサービス | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| キ | 本の探しやすさ(本の配置の仕方) | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ク | 館内の検索機(OPAC)の使いやすさ | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ケ | 自動貸出機の使いやすさ | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| コ | 本や調べものの相談(レファレンスサービス) | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| サ | コピーサービス | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| シ | 読書支援サービス(大活字本、対面朗読サービス等) | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ス | 団体貸出サービス | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| セ | インターネットコーナーの利用(三郷図書館を除く) | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ソ | AV(視聴覚資料の視聴)ブースの利用(三郷図書館を除く) | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| タ | 安曇野市図書館ホームページの内容 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| チ | 季節や行事にあわせた図書館資料の企画展示 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ツ | 行事・講座などの催し物 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| テ | 閲覧用のいす・机の数 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ト | 図書のリサイクルコーナーの利用のしやすさ | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ナ | 職員の接遇 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

→ 問15以降へおすすみください。

| | |
|---|--|
| <p>問14 問4で「利用しない」と回答された方にお聞きします。利用されないのは、なぜですか(該当する全てに○を)</p> | <p>1. 図書館があることを知らない</p> <p>2. 場所を知らない 3. 遠い(交通が不便)</p> <p>4. 利用する時間がない</p> <p>5. 利用したい本や雑誌がない</p> <p>6. 開館日や開館時間が合わない</p> <p>7. 利用する必要がない</p> <p>8. その他()</p> |
| <p>問15 図書館で特に充実すべき図書資料はなんですか(3つまで)</p> | <p>1. 新しい本や雑誌</p> <p>2. 品切れ・絶版などの古い本の保存</p> <p>3. 専門書</p> |

| | |
|--|---|
| <p>問15 図書館で特に充実すべき図書資料はなんですか（3つまで）</p> | <ol style="list-style-type: none"> 4. 趣味・実用書 5. 郷土資料・参考図書 6. 絵本・児童書 7. CD・DVD 8. オンラインデータベース（インターネットを利用してデータの検索が行える） 9. 新しいメディア（電子書籍など） 10. 新聞 11. 点字図書・録音図書・大活字本（目や耳に障がいがある人が読みやすい本など） 12. 統計資料 13. その他（ ） |
| <p>問16 今後、特に充実すべき図書館サービスはなんですか（3つまで）</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書資料の充実 2. 図書館設備の使いやすさ 3. 乳幼児・児童向けのサービス 4. 中高生向けのサービス 5. 高齢者向けのサービス 6. 障がいのある方へのサービス 7. おはなし会・講演・講座等の催しの開催 8. 本や調べものの相談（レファレンスサービス） 9. 図書館からの情報提供 10. 多文化のサービス（※1） 11. ビジネス支援のサービス 12. 健康・医療情報のサービス 13. 電子書籍のサービス 14. 開館日・開館時間の拡大 15. インターネット環境の充実 16. その他（ ） <p>※特に具体的な要望があれば記載してください。</p> |
| <p>（※1）外国人へのサービスや多言語による図書等の提供のサービス</p> | |
| <p>問17 あなたは、図書館の利用スペースについて、どのようなことを望みますか（3つまで）</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. くつろいで閲覧できるスペース 2. 集中して調べものができる場所 3. 飲食できる場所や飲食を提供する施設 4. 子どもに読み聞かせのできる場所 5. 持ち込みパソコンが使える場所と電源 6. インターネットが利用できる端末や場所 |

| | |
|---|---|
| <p>問17 あなたは、図書館の利用スペースについて、どのようなことを望みますか (3つまで)</p> | <p>7. 地域の情報交換できるスペース 8. 団体やグループで利用できるスペース 9. 照明・トイレ・バイアフリーなどの館内の設備の充実 10. 書架や設備などのわかりやすい館内表示 11. その他()</p> |
| <p>問18 自由意見</p> | <p>(その他、ご希望やご意見があればご記入ください。)</p> |

<質問は以上です。ご協力ありがとうございました。>

安曇野市 図書館サービス向上のためのアンケート調査
＜図書館利用者みなさまへ ～ ご協力お願いします＞

安曇野市教育委員会では、今後の図書館運営等を定める図書館基本計画を策定し、図書館サービスの向上を図るため、アンケート調査を実施することになりました。

多くの市民のみなさんに使いやすい図書館を実現するため、お忙しいなか大変恐縮ですが、ぜひご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

回答は、該当する項目の番号を○で囲んでください。なお、この調査は無記名で、調査結果はすべて統計的に処理いたします。

平成28年12月 安曇野市教育委員会

【あなた（回答者ご本人）についておたずねします。】（あてはまる番号1つだけ○を）

| | | | |
|-------|---|-------------------------------------|-------------------------------------|
| ◇性別 | 1. 男性 | 2. 女性 | |
| ◇年齢 | 1. 16歳未満 4. 20～29歳 7. 50～59歳 10. 80歳以上 | 2. 16～17歳 5. 30～39歳 8. 60～69歳 | 3. 18～19歳 6. 40～49歳 9. 70～79歳 |
| ◇居住地域 | 1. 豊科 4. 堀金 | 2. 穂高 5. 明科 | 3. 三郷 6. 市外 |
| ◇職業 | 1. 会社員・公務員 3. パート・アルバイト 5. 児童・生徒・学生 | 2. 自営業・自由業 4. 家事専業 6. 無職 | 7. その他 |

【あなたの読書環境についてお尋ねします】（あてはまる番号に1つだけ○を）

| | | | |
|--------------------------------------|--|---|---------|
| 問1 あなたは、本や雑誌を1ヶ月に平均何冊くらいお読みになりますか | 1. 1～2冊 4. 7～10冊 6. 全く読まない（理由） | 2. 3～4冊 5. 11冊以上 | 3. 5～6冊 |
| 問2 あなたは、本・雑誌等を主にどのような方法で入手あるいは利用しますか | 1. 書店・コンビニで購入 3. 公共図書館でかりる 5. 家族・友人からかりる 7. その他（） | 2. インターネットで購入 4. 学校図書館でかりる 6. 入手も利用もしない | |
| 問3 あなたは、知りたいことがある時、どのような方法で調べますか | 1. 書店・コンビニで探す 3. 公共図書館で調べる 5. 家族・友人などに聞く 6. その他（） | 2. インターネットで調べる 4. 学校図書館で調べる | |

【あなたの公共図書館利用についておたずねします】（あてはまる番号に1つだけ○を）

| | |
|---|--|
| 問1 普段、図書館をどのくらい利用（来館）していますか | 1. 毎日（ほぼ毎日） 2. 週に1～2回 3. 2～3週間に1回 4. 月1回程度 5. 時々（年に数回程度） |
| 問2 図書館を利用する主な目的はなんですか | 1. 仕事や研究 2. 知識や教養の向上 3. 社会のできごとを知る 4. 学校の勉強 5. 趣味・娯楽などの向上 6. その他（ ） |
| 問3 普段、最も利用している図書館 | 1. 中央図書館 2. 豊科図書館 3. 三郷図書館 4. 堀金図書館 5. 明科図書館 6. その他（ ） |
| 問4 どのような方法で図書館へ来ますか | 1. 徒歩 2. 自転車・バイク 3. 公共交通機関 4. 自家用車 5. その他（ ） |
| 問5 よく利用する曜日は何曜日ですか | 1. 月曜日 2. 火曜日 3. 水曜日 4. 木曜日 5. 金曜日 6. 土曜日 7. 日曜日 |
| 問6 よく利用する時間帯はいつですか | 1. 午前 2. 午後 3. 午後5時以降 4. 特に決まっていない |
| ※平日は中央図書館のみ午前9時から午後8時まで、それ以外の図書館は午前10時から午後6時まで開館 ※土日・祝日は全館午後6時まで開館 | |
| 問7 図書館にどのくらいの時間、滞在されますか | 1. 30分未満 2. 1時間以内 3. 1～3時間 4. 3～5時間 5. 5時間以上 |

問8 あなたは、公共図書館のサービスをどのように利用していますか。利用内容ごとにひとつずつ、利用状況を選び数字に○をしてください。

※項目サ、ス、セ、ソについては、利用できる図書館は三郷以外です。（対象館以外は、記入不要）

※項目シについては、利用できる図書館は、中央のみです（対象館以外は記入不要です）

| | 利用状況→ | いつも利用する | 比較的に利用する | たまに利用する | 利用したことがある | 利用しない | 知らなかった |
|---|------------------------|---------|----------|---------|-----------|-------|--------|
| ア | 図書館にある本や雑誌・視聴覚資料などを借りる | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ | 本や雑誌、視聴覚資料の予約をする | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ | 館内の利用者検索機（OPAC）等を使う | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ | 他の図書館にある本や雑誌を取り寄せてもらう | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オ | 図書館の本を館内で読む | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

| | 利用状況→ | いつも利用する | 比較的利用する | たまに利用する | 利用したことがある | 利用しない | 知らなかった |
|---|-------------------------------------|---------|---------|---------|-----------|-------|--------|
| | 利用内容↓ | | | | | | |
| オ | 図書館の本を館内で読む | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| カ | 図書館の新聞・雑誌を館内で読む | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| キ | 図書館の資料を使って調べものをする | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ク | 本や調べものについて、職員に相談する（レファレンス） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ケ | 図書館の資料をコピーする | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| コ | おはなし会や講演会・講座などの催し物に参加する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| サ | 図書館のパソコンでインターネットを利用する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| シ | 新聞記事検索、法令情報検索、農業出版物検索などのデータベースを利用する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ス | 図書館の端末を使い、持込みパソコンを利用する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| セ | 視聴覚（AV）コーナーを利用する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ソ | 図書のリサイクルコーナーを利用する | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| タ | 市・その他の情報を知る | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問9 公共図書館の施設・資料についての満足度をうかがいます。施設・資料の内容ごとにひとつずつ、満足度を選び数字に○をしてください。

| | 満足度→ | 非常に満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 非常に不満 | わからない |
|---|-------------------|-------|------|---------|------|-------|-------|
| | 施設・資料の内容↓ | | | | | | |
| ア | 大人向けの図書 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ | 子ども向けの図書 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ | 雑誌 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ | 新聞 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オ | 参考図書（辞典類） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| カ | 視聴覚資料（CD・DVD・ビデオ） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| キ | 図書館の施設・設備 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ク | 市・その他の情報を知る | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問10 図書館のサービスについての満足度をうかがいます。サービス内容ごとにひとつずつ、満足度を選び数字に○をしてください。

| | 満足度→ | 非常に満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 非常に不満 | わからない |
|---|---------|-------|------|---------|------|-------|-------|
| | サービス内容↓ | | | | | | |
| ア | 開館時間 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

| | サービス内容↓ | 満足度→ | | | | | |
|-------------------------------------|---|-------|------|-------|------|-------|-------|
| | | 非常に満足 | やや満足 | どちらでも | やや不満 | 非常に不満 | わからない |
| イ | 休館日（月曜日） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ | 祝日の翌日及び館内整理日（月1回）を休館としていること | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ | 資料貸出点数（図書10点以下、AV資料3点以下、紙芝居2点以下） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オ | 資料貸出期間（2週間以内） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| カ | 予約・リクエストサービス | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| キ | 本の探しやすさ（本の配置の仕方） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ク | 館内の検索機（OPAC）の使いやすさ | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ケ | 自動貸出機の使いやすさ | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| コ | 本や調べものの相談（レファレンスサービス） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| サ | コピーサービス | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| シ | 読書支援サービス（大活字本、対面朗読サービス等） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ス | 団体貸出サービス | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| セ | インターネットコーナーの利用 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ソ | AV（視聴覚資料の視聴）ブースの利用 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| タ | 安曇野市図書館ホームページの内容 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| チ | 季節や行事にあわせた図書館資料の企画展示 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ツ | 行事・講座などの催し物 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ツ | 閲覧用のいす・机の数 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| テ | 図書のリサイクルコーナーの利用のしやすさ | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ト | 職員の接遇 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 問11 図書館で特に充実すべき図書資料はなんですか （3つまで） | 1. 新しい本や雑誌 2. 品切れ・絶版などの古い本の保存 3. 専門書 4. 趣味・実用書 5. 郷土資料・参考図書 6. 絵本・児童書 7. CD・DVD 8. オンラインデータベース（インターネットを利用してデータの検索が行える） 9. 新しいメディア（電子書籍など） 10. 新聞 11. 点字図書・録音図書・大活字本（目や耳に障がいがある人が読みやすい本など） 12. 統計資料 13. その他（ ） | | | | | | |

問12 図書館を利用した成果として、次のようなことにお感じになりますか。成果内容ごとにひとつずつ、満足度を選び数字に○をしてください。

| | 満足度→ | 非常に満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 非常に不満 | わからない |
|---|------------------------------|-------|------|---------|------|-------|-------|
| ア | 探していた情報や知識を得ることができた | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| イ | 仕事や学業、資格取得の役に立った | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ウ | 今まで知らなかった世界や考え方を知り、関心分野が広がった | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| エ | 教養や趣味などを高めることができた | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| オ | 面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| カ | 読書習慣がついた | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| キ | その他（具体的に： ） | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

| | |
|--|---|
| <p>問13 今後、特に充実すべき図書館サービスはなんですか（3つまで）</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書資料の充実 2. 図書館設備の使いやすさ 3. 乳幼児・児童向けのサービス 4. 中高生向けのサービス 5. 高齢者向けのサービス 6. 障がいのある方へのサービス 7. おはなし会・講演・講座等の催しの開催 8. 本や調べものの相談（レファレンスサービス） 9. 図書館からの情報提供 10. 多文化のサービス（※1） 11. ビジネス支援のサービス 12. 健康・医療情報のサービス 13. 電子書籍のサービス 14. 開館日・開館時間の拡大 15. インターネット環境の充実 16. その他（ ） <p>※特に具体的な要望があれば記載してください。</p> |
|--|---|

（※1）外国人へのサービスや多言語による図書等の提供のサービス

| | |
|--|--|
| <p>問14 あなたは、図書館の利用スペースについて、どのようなことを望みますか（3つまで）</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. くつろいで閲覧できるスペース 2. 集中して調べものができる場所 3. 飲食できる場所や飲食を提供する施設 4. 子どもに読み聞かせのできる場所 5. 持ち込みパソコンが使える場所と電源 |
|--|--|

| | |
|---|---|
| <p>問14 あなたは、図書館の利用スペースについて、どのようなことを望みますか (3つまで)</p> | <p>6. インターネットが利用できる端末や場所 7. 地域の情報交換できるスペース 8. 団体やグループで利用できるスペース 9. 照明・トイレ・バリアフリーなどの館内の設備の充実 10. 書架や設備などのわかりやすい館内表示 11. その他()</p> |
| <p>問15 自由意見</p> | <p>(その他、ご希望やご意見があればご記入ください。)</p> |

<質問は以上です。ご協力ありがとうございました。>

あずみのし としょかん こうじょう ちょうさ
安曇野市 図書館サービス向上のためのアンケート調査

しょうがくせい ちゅうがくせい きょうりょく ねが
<小学生・中学生のみなさんへ ~ ご協力のお願い>

あずみのし としょかん
 安曇野市図書館では、これからもみなさんにもっと利用してもらえるような

としょかん
 図書館にするため、アンケートをすることにしました。

かんたん
 簡単なアンケートですので、どうかご協力をお願いします。

へいせい ねん がつ あずみのしきょういくいいんかい
 平成28年12月 安曇野市教育委員会

【あなたについておたずねします。】

| | | | |
|---------------|----------------|----------------|-------|
| ◇性別 | 1. 男性 | 2. 女性 | |
| ◇学年 | 1. 小学生 | 2. 中学生 | |
| ◇住んでい るところ | 1. 豊科 4. 堀金 | 2. 穂高 5. 明科 | 3. 三郷 |

【あなたが本を読むことについておたずねします】(あてはまる番号に1つだけ0を)

| | | | | | |
|--|--------------|----------------|------------------|---------------|-----------|
| 問1 あなたは本を読む ことが好きですか | 1. 好き | 2. どちらかという人喜欢 | 3. どちらかといえば嫌い | 4. 嫌い | |
| 問2 あなたは、小さい ときにだれかに本を読 んでもらいましたか | 1. よく読んでもらった | 2. ときどき読んでもらった | 3. あまり読んでもらえなかった | 4. 読んでもらえなかった | 5. その他() |

| | |
|--|--|
| <p>問3 あなたは、本を 1ヶ月間にだいたい 何冊くらい読みますか</p> | <p>1. 1～2冊 2. 3～4冊 3. 5～6冊 4. 7～10冊 5. 11冊以上 6. 全く読まない(理由)</p> |
| <p>問4 あなたは、本をど のような方法で手に入 れていますか</p> | <p>1. 書店・コンビニで買う 2. インターネットで買う 3. 市の図書館で借りる 4. 学校の図書館で借りる 5. 家族や友達から借りる 6. 買うことも借りることも しない 7. その他()</p> |
| <p>問5 あなたは、知りた いことがある時、どの ような方法で調べます か</p> | <p>1. 書店・コンビニで探す 2. インターネットで調べる 3. 市の図書館で調べる 4. 学校の図書館で調べる 5. 家族や友達などに聞く 6. その他()</p> |
| <p>問6 あなたは、どこで 本を読んでいますか</p> | <p>1. 自分や友達の家 2. 学校(教室・図書館) 3. 市の図書館 4. 公民館や児童館などの施設 5. 全く読まない 6. その他()</p> |

【あなたの市の図書館利用についておたずねします】(あてはまる番号に1つだけ○を)

| | |
|--|---|
| <p>問7 普段、市の図書館 をどのくらい利用 (来館)していますか</p> | <p>1. 毎日(ほぼ毎日) 2. 週に1～2回 3. 2～3週間に1回 4. 月1回程度 5. 時々(年に数回程度) 6. 利用しない</p> |
|--|---|

→ 「6」を答えた人は、問17へ

| | |
|---|---|
| <p>問8 普段、よく利用している市の図書館はどこですか</p> | <p>1. 中央図書館 (みらい) 2. 豊科図書館 (きぼう) 3. 三郷図書館 4. 堀金図書館 5. 明科図書館 (ひまわり) 6. その他 ()</p> |
| <p>問9 どのような方法で市の図書館に行きますか</p> | <p>1. 徒歩 (歩き) 2. 自転車 3. 家の車 4. 電車・バス・タクシー 5. その他 ()</p> |
| <p>問10 よく利用する曜日は何曜日ですか</p> | <p>1. 月曜日 2. 火曜日 3. 水曜日 4. 木曜日 5. 金曜日 6. 土曜日 7. 日曜日</p> |
| <p>問11 よく利用する時間帯はいつですか</p> | <p>1. 午前 2. 午後 3. 午後5時以降 4. 特に決まっていない</p> |
| <p>※平日は中央図書館のみ午前9時から午後8時まで、それ以外の図書館は午前10時から午後6時まで 開館。 土日・祝日は全館午後6時まで開館</p> | |
| <p>問12 市の図書館にどのくらいの時間いますか</p> | <p>1. 30分未満 2. 1時間以内 3. 1～3時間 4. 3～5時間 5. 5時間以上</p> |
| <p>問13 なののために市の図書館を利用しますか (2つまで)</p> | <p>1. 本を借りる 2. 学校の勉強 (総合学習等) に行く 3. 自由研究を調べる 4. インターネットを使う 5. DVDやCDを借りる 6. 自習室等で勉強する 7. 気ばらしや時間つぶしをする 8. その他 ()</p> |

| | |
|---|--|
| <p>問14 図書館で増やしてほしい図書資料はな nderですか (3つまで)</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい本や雑誌 2. 品切れや売られていない本、貴重な昔の本など 3. 専門書 (自然・科学・歴史の本など) 4. 趣味・実用書 (好きなことやスポーツ、生活などに役立つ本など) 5. 郷土資料・参考図書 (安曇野市の歴史や地理の本など) 6. 絵本・児童書 (絵の多い本やものがたりの本など) 7. CD・DVD 8. オンラインデータベース (インターネットを利用していろいろなことを調べられる) 9. 新しいメディア (スマートフォンやタブレットで読むことができるデジタルデータになった本など) 10. 新聞 (子ども新聞など) 11. 点字図書・録音図書・大活字本 (目や耳に障がいがある人が読みやすい本など) 12. 統計資料 (安曇野市の人口や産業の本など) 13. その他 () |
| <p>問15 図書館にほしい本、雑誌、新聞、CD・DVDなどあれば記入してください</p> | <p>(題名・著者など具体的に記入してください)</p> |

| | |
|---|--|
| <p>問16 図書館のインターネット検索について</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. よく利用している 2. たまに利用している 3. 知っているが利用したことはない 4. 知らない |
| <p>→ 問7で「利用しない」と答えた人は、問17以降へおすすみください。</p> | |
| <p>問17 問7で「利用しない」と答えた人にお聞きします。利用されないのは、なぜですか(該当する全てに○を)</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館があることを知らない 2. 場所を知らない 3. 遠い(交通が不便) 4. 利用する時間がない 5. 読みたい本や雑誌がない 6. 開館日や開館時間が合わない 7. 利用する必要がない 8. その他() |
| <p>問18 今後、特に増やしてほしい図書館サービスはなんですか(3つまで)</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 本や、CD・DVDなどを増やす 2. 図書館の貸し出しする機械や本を探す機械などを使いやすくする 3. 「おはなし会」や「読み聞かせ」を行ったり、親子向けの講座を増やす 4. 中高生向けに、いろいろな分野の入門書や人気の小説などの本などをそろえる 5. 目が見えにくかったり、耳が聞こえにくかったりする人のために、字が大きい本や本の朗読を録音した |

| | |
|---|---|
| <p>問 18 今後、特に増や してほしい図書館サー ビスはなんですか (3つまで)</p> | <p>図書などそろえる</p> <p>6. 目や耳に障がいがある人でも図書館を利用できる ように、本を読んだり、点字の資料をそろえたりする</p> <p>7. 講演会・講座などをたくさん開催する</p> <p>8. みなさんが必要とする資料や情報を探したり、相談 や質問を受け付けたりする</p> <p>9. チラシや安曇野市のホームページなどで図書館の 行事を紹介する</p> <p>10. いろいろな国の言葉の本を増やす</p> <p>11. 仕事に役に立つ本をそろえる</p> <p>12. 健康に役に立つ本をそろえる</p> <p>13. スマートフォンやタブレットなどで、デジタル化 された本を読むことができるようにする</p> <p>14. 開館日・開館時間を増やす</p> <p>15. 図書館の中で、どこでもインターネットがつなが るようにする</p> <p>16. その他 ()</p> |
| <p>問 19 あなたは、 図書館の利用スペース について、なにが欲し いですか (3つまで)</p> | <p>1. ゆっくりで本や雑誌が読める場所</p> <p>2. 集中して調べものや勉強ができる場所</p> <p>3. 飲食できる場所や飲食物を出してくれる施設</p> |

| | |
|--|---|
| <p>問 19 あなたは、 <small>としょかん りよう</small> 図書館の利用スペース について、なにが<small>ほ</small>欲しいですか（3つまで）</p> | <p>4. <small>こ</small>子どもがゆっくりと<small>ほん よ</small>本が読める場所 5. <small>も</small>持ってきたパソコンが<small>つか</small>使える場所と<small>でんげん</small>電源 6. インターネットが<small>りよう</small>利用できるパソコンや<small>ぼしよ</small>場所 7. <small>ともだち いっしょ</small>友達と一緒に<small>りよう</small>利用できる場所 8. <small>だんたい</small>団体やグループで<small>りよう</small>利用できる場所 9. トイレなどの<small>としょかんない</small>図書館内の<small>せつび</small>設備を<small>じゆうじつ</small>充実 10. <small>ほんだな てんじ</small>本棚や展示コーナーなどのわかりやすい<small>あんないひょうじ</small>案内表示 11. その他（ ）</p> |
| <p>問20 <small>じゆういけん</small> 自由意見</p> | <p>(<small>きぼう</small> ご希望や<small>いけん</small> ご意見があれば<small>きにゅう</small>記入してください。)</p> |

< しつもん いじょう 質問は以上です。ごきょうりよく協力ありがとうございました。 >

平成 28 年 11 月 25 日開催

安曇野市教育委員会 11 月定例会当日配布資料

【教育委員会定例会提出資料】

| | |
|---------------------|------------------------|
| 議案第 3 号 | 教育部 学校教育課 |
| 平成 28 年 11 月 25 日提出 | (課長) 古幡 彰 (担当係長) 平林 洋一 |

| | |
|-------------|---|
| タイトル | 安曇野市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書の作成について |
| 決定を要する事項の内容 | 点検・評価報告書の作成手法等について |
| 要旨 | 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、すべての教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、市ホームページで公表する。 |
| 説明 | <p>【作成スケジュール等】</p> <ol style="list-style-type: none">1 点検評価シートの作成 ～12 月 9 日 * 教育要覧のデータを基本に作成2 評価シートの取りまとめ ～12 月 16 日3 教育委員会協議 12 月 22 日 * 教育委員会としての点検・評価に係る意見4 外部評価の実施 ～ 2 月上旬 * 人選別途5 議会報告及び公表 3 月議会～ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）</p><p>第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。</p><p>2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。</p></div> |

平成 27 年度 安曇野市教育委員会重点施策事務事業一覧（評価対象項目）案

| No. | 安曇野市総合計画後期基本計画との関係 | 主要事務事業（評価対象項目） | 所管課 |
|-----|---|--|----------|
| 1 | 第3章 人と文化を育むまちの形成 第1節 郷土を担う人を育むまち 1 学校教育の充実 ① 時代を担う人づくりの推進 ② 特色ある学校教育の推進 ③ 学校施設の整備 ④ 相談支援体制の充実 | いじめ・不登校対策事業 | 学校教育課 |
| 2 | | 中間教室運営事業 | 学校教育課 |
| 3 | | 教育相談事業 | 学校教育課 |
| 4 | | 就学相談事業 | 学校教育課 |
| 5 | | 教育指導員・教育相談員の配置 | 学校教育課 |
| 6 | | 学校加配職員及び不登校支援コーディネーター等の配置・派遣事業 | 学校教育課 |
| 7 | | 学校 ICT 事業の推進 | 学校教育課 |
| 8 | | 英語教育の推進 | 学校教育課 |
| 9 | | スクールサポート事業 | 学校教育課 |
| 10 | | 学校安全対策事業 | 学校教育課 |
| 11 | | 小学校施設改修事業 | 学校教育課 |
| 12 | | 給食事業 | 学校教育課 |
| 13 | 2 青少年の健全育成 | 青少年健全育成事業 | 生涯学習課 |
| 14 | 第3章 人と文化を育むまちの形成 第2節 生涯を通じて学び合うまち 1 生涯学習の推進 ① 生涯学習体制の構築 ② 生涯学習機会の充実 ③ 生涯学習施設の整備 | 成人式 | 生涯学習課 |
| 15 | | 安曇野市 1/2 成人式 | 生涯学習課 |
| 16 | | 安曇野検定 | 生涯学習課 |
| 17 | | 社会教育講座事業 | 生涯学習課 |
| 18 | | 社会教育団体への補助 | 生涯学習課 |
| 19 | | 放課後・家庭教育推進事業 | 生涯学習課 |
| 20 | | 中央公民館事業 | 生涯学習課 |
| 21 | | 交流学习センター運営 | 図書館交流課 |
| 22 | | 読書活動推進事業 | 図書館交流課 |
| 23 | | 第6章 協働によるまちづくりの推進 第1節 協働で築かれるまち 4 人権の尊重 ① 人権教育・啓発の推進 ② 人権擁護団体の育成支援 | 人権教育推進事業 |
| 24 | 2 スポーツ活動の推進 ① 生涯スポーツの推進 ② スポーツ施設の整備と有効活用 ③ 競技スポーツの振興と指導者の育成 ④ 高齢者・生涯スポーツの推進 ⑤ スポーツを通じたコミュニティづくり | 体育団体補助 | 生涯学習課 |
| 25 | | 市民スポーツ祭 | 生涯学習課 |
| 26 | | 公式スポーツ施設整備計画策定 | 生涯学習課 |
| 27 | | 社会体育講座事業 | 生涯学習課 |
| 28 | | 第3章 人と文化を育むまちの形成 第3節 文化を学び育むまち | 文化芸術振興事業 |
| 29 | 1 芸術文化活動の振興 ① 地域文化の振興 ② 芸術文化施策の充実 ③ 芸術文化活動の推進 ④ 歴史民俗資料の保存・活用 | 諸団体との協働事業 | 文化課 |
| 30 | | 財政支援団体への補助 | 文化課 |
| 31 | | 博物館・美術館等の管理運営 | 文化課 |

(様式)

| 事務事業 | No. | 事務事業名： | H27 年度決算額 | 千円 |
|---|-----|--------|-----------|----|
| 事業の目的 | | | | |
| 事業内容 | | | | |
| 達成状況 ※関連計画において目標数値等が設定されている場合はその達成状況について具体的に記載 ※できる限り数値を用いて示すこと | | | | |
| 事業の課題及び方向性 | | | | |
| 自己評価 | | | | |

※自己評価 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

| | |
|----------------------|----------------------|
| 報告事項第 1 号 | 教育部 学校教育課 |
| 平成 28 年 11 月 25 日 提出 | (課長) 古幡 彰 (担当) 飯嶋 正成 |

| | |
|-------------|--|
| タイトル | 平成 28 年度 安曇野市中学生議会について |
| 報告を要する事項の内容 | 安曇野市中学生議会の開催等に係る概要等の報告 |
| 要旨 | 本年度より教育部学校教育課の所管となった中学生議会の開催概要等について報告するもの |
| 説明 | <p>1 目的 人口減少、少子高齢化など社会状況の変化や地方分権の進展、また市民の生活やニーズの多様化により、市民も行政も役割分担を明確にしなが、それぞれの責任を果たすまちづくりが求められています。 一方、平成 27 年 6 月、公職選挙法の一部を改正する法律が成立・公布され選挙年齢が満 18 歳まで引き下げられ、小中学生に対し政治への関心を高め、主権者としての自覚を促すことが必要になっています。 このことから、市では中学生の目線による斬新な発想やアイデアを今後の協働のまちづくり推進に活かすとともに、中学生が主権者の立場で政治への関心を高められるようにするため、教育部学校教育課の所管（昨年度までは地域づくり課所管）により、中学生議会を開催しました。</p> <p>2 開催日時・会場 11 月 12 日（土）13：00～16：00 安曇野市議場（本庁舎 3 階）</p> <p>3 参加者 (1) 生徒 市内各中学校（7 校）2 年生から、豊科北中学校、穂高東中学校、穂高西中学校及び三郷中学校から 3 人ずつ（男女 1 人ないし 2 人）、並びに豊科南中学校、堀金中学校及び明科中学校から 2 人ずつ（男女 1 人）の計 18 人 ※中学生議員一人一人の意見や要望を市側がじっくりと聞き、その趣旨をしっかりと受け止めるために、昨年度（25 名）から数を 7 名削減しました。</p> <p>(2) 市関係者 ① 議会 市長、副市長、教育長、関係部長等 ② 学習会 各グループに応じた担当職員 (3) 事務局 教育部学校教育課（市民生活部地域づくり課と連携）</p> <p>4 当日の傍聴等 (1) 一般傍聴者 34 人 (2) 保護者・学校関係者 39 人 計 73 人 (3) 報道機関 3 社</p> <p>5 その他 別冊の「議員生徒質問書」及び「答弁書」は、発言における参考的なものであり、実際の発言内容とは異なる場合があります。</p> |

平成28年度 安曇野市中学生議会 タイムテーブル

開 会 13:00

市長挨拶 13:00～13:10

| 順 | グループ | 中学校 | 議員氏名 | 性別 | 代表 | 議長 | 質問内容 | 議員 時間 | 時間 | 市長 教育長 答弁 | 部等の長 答弁 |
|---|-------|-----|-------|----|----|-------|---------------------------------------|----------|------------|-----------------------------------|------------|
| 1 | 福祉・保健 | 穂高東 | 松田 鳳羽 | 男 | ○ | 宮澤 晶穂 | 介護保険・健康予防について 気軽に利用できるトレーニングルームの設置 | 2分 | 13:10 | 市長 (8分) 13:16 ～ 13:32 | 保健医療 部長 |
| 2 | | 豊科北 | 寺島 遥夏 | 女 | | | 障がい者福祉について 障がい者との交流の場を増やす | 2分 | ～ 13:32 | | 福祉部長 |
| 3 | | 穂高西 | 内山 心乃 | 女 | | | 地域福祉について 高齢者のための行事づくり・若者との交流 | 2分 | | | 福祉部長 |

| 順 | グループ | 中学校 | 議員氏名 | 性別 | 代表 | 議長 | 質問内容 | 議員時間 | 時間 | 市長教育長 答弁 | 部等の長 答弁 |
|---|-------|-----|-------|----|----|-------|--|------|---------------------|------------------------------------|------------|
| 4 | | 三郷 | 柳澤 真衣 | 女 | ○ | | 安曇野市の米の状況について 米の消費量を上げるための工夫や、農業生産者の確保と、作業支援の充実について | 2分 | | 市長 (8分) 13:38 ～ | 農林部 |
| 5 | 観光・産業 | 明科 | 竹田 匠吾 | 男 | | 宮澤 晶穂 | 松くい虫被害への対策と現状について 土砂崩れを防ぐ対策・イベントを多く開催 | 2分 | 13:32 ～ 13:54 | 13:38 ～ 13:46 | 農林部 |
| 6 | | 豊科北 | 浅輪大二郎 | 男 | | | 安曇野の観光について 冬や秋のよさを活かした企画・冬の安曇野の風景投稿 | 2分 | | | 商工観光 部長 |
| 7 | | 堀金 | 長谷川将秀 | 男 | ○ | | 通学路の危険個所の発信について 通学路安全マップを閲覧できるように学校へ 配付 | 2分 | | 教育長 (6分) 14:00 ～ 14:06 | 教育部長 |
| 8 | 教育 | 穂高西 | 勝野 直 | 男 | | 宮澤 晶穂 | 文化課の出前展示について 学校ミュージアムの年間の回数を増やす | 2分 | 13:54 ～ 14:16 | ～ 14:06 | 教育部長 |
| 9 | | 豊科南 | 木船 琢馬 | 男 | | | 広報あづみのについて 図書館に置く・小中学生用の広報を作成 | 2分 | | 市長 (2分) 14:06～ 14:08 | 政策部長 |

休憩(14:16～14:30)

| 順 | グループ | 中学校 | 議員氏名 | 性別 | 代表 | 議長 | 質問内容 | 議員時間 | 時間 | 市長教育長答弁 | 部長等の長答弁 |
|----|-------|-----|------------------|----|----|-------|--|------|---------------------|-----------------------------------|--------------|
| 10 | 安全・安心 | 堀金 | 中田 侑来 | 男 | ○ | 浅輪大二郎 | 自然災害が起きた時の対策について 備蓄品の補充・避難所の点検・災害時の講義 | 2分 | 14:30 ～ 14:52 | 市長 (8分) 14:36 ～ 14:44 | 総務部 |
| 11 | | 三郷 | 深尾 光希 | 男 | | | 自転車の交通安全について 自転車の交通安全に対する意識向上・自転車に適した環境整備 | 2分 | | | 市民生活部 |
| 12 | | 豊科南 | 宮澤 晶穂 | 女 | | | 建築住宅について 看板設置の見直し・設置場所の見まわり | 2分 | | | 都市建設部 |
| 13 | まちづくり | 豊科北 | 三原 大知 代理:木村珠星 | 男 | ○ | 浅輪大二郎 | 高齢者の生きがいや生活について お互い支え合うことのできる環境づくり | 2分 | 14:52 ～ 15:14 | 市長 (8分) 14:58 ～ 15:06 | 市民生活部 福祉部 |
| 14 | | 穂高西 | 茂原 和奏 | 女 | | | 男女共同について 意見交換会の開催・作文コンクールの募集 | 2分 | | | 総務部 |
| 15 | | 明科 | 矢島萌唯奈 | 女 | | | 男女共同参画のイベント回数について 回数を増やす・ポスターやチラシの作成 | 2分 | | | 総務部 |

| 順 | グループ | 中学校 | 議員氏名 | 性別 | 代表 | 議長 | 質問内容 | 議員時間 | 時間 | 市長教育長 答弁 | 部長等の長 答弁 |
|----|------|-----|-------|----|----|-------|--|------|---------------------|-----------------------------------|-------------|
| 16 | 環境 | 三郷 | 宮澤 美凧 | 女 | ○ | 浅輪大二郎 | 太陽光パネルについて 設置の推進・データや動画を利用したPR | 2分 | 15:14 ～ 15:36 | 市長 (8分) 15:20 ～ 15:28 | 市民生活 部 |
| 17 | | 穂高東 | 醍醐 葵 | 女 | | | 廃棄物・資源物の分別について ゴミ箱に貼れる分別表の作成・資源物回収場 所の周知 | 2分 | | | 市民生活 部 |
| 18 | | 穂高東 | 荒井 葵 | 女 | | | 安曇野の水の安全性のPRについて 水に対するイベントの実施、PR方法の改善 | 2分 | | | 上下水道 部 |

教育長あいさつ 15:36～15:41

閉会 15:42

平成 28 年度 安曇野市中学生議会実施要領【確定版】

～協働社会の一員として、市政に参加しよう！～

1 目的

人口減少、少子高齢化など社会状況の変化や地方分権の進展、また市民の生活やニーズも多様化してきており、市民も行政も役割分担を明確にしながら、それぞれの責任を果たすまちづくりが求められています。一方、平成 27 年 6 月、公職選挙法の一部を改正する法律が成立し、公布され（平成 28 年 6 月 19 日施行）選挙年齢が満 18 歳まで引き下げられました。小中学生に対しても、政治への関心を高め、主権者としての自覚を促すことが必要になっています。

このことから、市では中学生の目線による斬新な発想やアイデアを今後の協働のまちづくり推進に活かすとともに、中学生が主権者の立場で政治への関心を高められるようにするため、中学生議会を開催します。

※今年度は、中学生議会の取り組みを各学校内にできるだけ広めていくこと、中学校の生徒や教職員、保護者の傍聴を増やしていくことを実践したいと考えています。

2 参加者

(1) 生徒

市内各中学校（7校）2年生から、豊科北中学校、穂高東中学校、穂高西中学校及び三郷中学校から3人ずつ（男女1人ないし2人）、並びに豊科南中学校、堀金中学校及び明科中学校から2人ずつ（男女1人）の計18人

※中学生議員一人一人の意見や要望を市側がじっくりと聞き、その趣旨をしっかりと受け止めるために、昨年度（25名）から数を7名削減しました。

※中学生議会を担当する教諭をはじめ、生徒会や社会科などの担当者にも積極的な参加、傍聴を募る。

(2) 市関係者

①議会 市長、副市長、教育長、関係部長等

②学習会 各グループに応じた担当職員

(3) 事務局

教育部学校教育課（市民生活部地域づくり課と連携）

3 校長会への依頼

4月の校長会において、中学生議会の実施について依頼

4 学習会

(1) グループ分け

18人の生徒が6グループに分かれ、議会に向けてのそれぞれの分野での学習会を行う。

①福祉・保健グループ（高齢者福祉、健康増進、地域福祉、介護保険など）

②安全・安心グループ（防災、防犯、交通安全、道路、河川など）

③観光・産業グループ（農業、商業、工業、観光、地域資源の活用など）

④教育グループ（学校教育、生涯学習、図書館利用の促進、文化財の管理など）

⑤まちづくりグループ（財政、総合計画、議会、市民協働など）

⑥環境グループ（環境、上下水道など） ※28年度より安全・安心グループから独立

(2) 市職員

各グループのテーマに応じて、市政の現状と今後の考え方などを説明する。

(3) 学習会の開催

議会当日までに2回、市役所の会議室において、担当職員から（1）のテーマごとに説明会を実施する。開催時期は、7月と8月（各種大会などを考慮し校長会と調整する。）

(4) 質問等への回答

学習会の回数が限られるため、学習会で学んだ事項についての質問等は、随時事務局の学校教育課教育指導室（地域づくり課と連携）が窓口になり、中学生議員からの質問を受け付け、担当課からの回答を送付するなど、双方向の支援を行う。

5 日程

【学習会】

◎第1回 7月24日(日) 9:00~12:00 場所:本庁舎4階 大会議室

- (1) 開会式(議会のねらい→教育長 or 教育部長)
- (2) アイスブレイキング
- (3) 自己紹介
- (4) 議長選出
- (5) 市の組織、安曇野市総合計画等の市制全般の説明
- (6) グループ学習(自己課題の発表と、各課の行政説明)
 - ① 福祉・保健グループ
長寿社会課、福祉課、子ども支援課、健康推進課、介護保険課、国保年金課
 - ② 安全・安心グループ
危機管理課、地域づくり課、監理課、建設課、都市計画課、建築住宅課
 - ③ 観光・産業グループ
観光交流促進課、商工労政課、農政課、耕地林務課
 - ④ 教育グループ
学校教育課、生涯学習課、図書館交流課、文化課
 - ⑤ まちづくりグループ
政策経営課、地域づくり課、議会事務局、財政課、税務課、人権男女共同参画課
 - ⑥ 環境グループ
経営管理課、上・下水道課、環境課、廃棄物対策課

◎第2回 8月27日(土) 9:00~12:00 場所:本庁舎3階 305, 306会議室

- (1) グループ学習会(自己課題の発表・討議と、担当課からのアドバイス)
 - ① 福祉・保健グループ
 - ② 安全・安心グループ
 - ③ 観光・産業グループ
 - ④ 教育グループ
 - ⑤ まちづくりグループ
 - ⑥ 環境グループ※事前に意見質問をとり、参加する課に出席依頼をする。
※学習会の中で出された質問について、担当課がない場合には後で聞き取り、伝達する。
- (2) 議会に向けて
 - ①質問項目の選定
 - ②質問案の作成に向けて

【議員質問作成】

◎議員ごとに作成 夏休み中

【各校の担当へ質問提出】

◎各議員は議員質問を作成し、自校の担当の先生に提出→学校長へ 9月9日(金)

【校内指導及び質問の提出】

◎各校学校長や担当教諭が質問内容を指導し、最終的に各生徒が作成したものを、学校長を通じて学校教育課へご提出 9月21日(水)

【部長へ回答依頼 ~作成 ~庁内調整】

◎理事者、各部長へ回答依頼

◎作成後、庁内調整(理事者打ち合わせ) 9月下旬から10月

【リハーサル】◎生徒によるリハーサル 10月29日(土) 予定 ※現在日程調整中

【議会当日】◎11月12日(土) 13:00~16:00 安曇野市議場(本庁舎3階)

【議会後について】

・学校での報告・録画の視聴、校内放送・授業への活用(同好会・信州社研など)について検討していく。

【その他】

・課題の個人追究、グループで集まったの自主的学習会(夏休み等)の相談にも応じる。

安曇野市中学生議会の流れ (チャート)

| 月 | 中学校 | 生徒 | 学校教育課 | 庁内 |
|--------------------------------------|---|---|--|-------------------------------------|
| 4月 | 校長会 (承認) 各校長 (2~3人選出) | | 事業説明、依頼 議員 (生徒) 選出依頼 (含: グループ希望調査) | 政策会議 (承認) |
| 5月 | 校長選出議員報告 担当教諭 | 保護者・生徒 | 報告受付 参加依頼・案内 (含: グループ分け通知) | |
| 6月 | | | | |
| 7月 | (担当教諭参加) | | 学習会企画、関係課依頼 | 関係課 (説明、資料準備) |
| 第1回学習会 7月24日(日) 場所: 本庁舎4階 大会議室 | | | | |
| | | 学習会まとめ 学習会の質問 回答受け取り | 質問受付 回答送付 第2回学習会案内 学習会企画、関係課依頼 | 質問に対する回答依頼 回答作成 関係課 (説明、資料準備) |
| 8月 | 担当教諭 | 保護者・生徒 | | |
| 第2回学習会 8月27日(土) 場所: 本庁舎3階 305、306会議室 | | | | |
| | | 学習会まとめ 学習会の質問 回答受け取り 議員質問案作成 | 質問受付 回答送付 リハ・当日案内 | 質問に対する回答依頼 回答作成 |
| 9月 | 質問案受け取り (担当教諭) 校内指導 (担当教諭→学校長確認) 最終案提出 (9月21日(水)) | 9日(金) 議員質問案提出 修正期間 16日(金) 再提出 | 議員質問受け取り | |
| 10月 | 担当教諭 | 保護者・生徒 質問書受け取り ※各自で質問練習をする。 | 質問書送付 答弁作成依頼 答弁書まとめ | 各部答弁作成 答弁書提出 |
| 理事者打ち合わせ | | | | |
| リハーサル 10月29日(土) ※現在日程調整中 | | | | |
| | 傍聴 生徒、保護者 担当教諭 一般市民 一般保護者 一般生徒 | <h1 style="margin: 0;">中学生議会 11月12日(土)</h1> | | |

6 学習会の詳細

◎第1回 7月24日(日) 9:00~12:00 (本庁舎4階 大会議室)

- (1) 開校式(教育長 or 教育部長) 9:00~9:05
- (2) アイスブレイキング(自己紹介含む) 9:05~9:15
- (3) 議長選出 9:15~9:20
- (4) 学習会

①市の組織、安曇野市総合計画等の市制全般の説明

政策経営課 9:20~9:35

②グループ学習 9:35~11:45

自己課題の発表と各課の行政説明(20分)とする。※休憩 10:35~10:45

| NO.グループ名 | 内容 | 担当する課 | 時間(9:35~11:45) |
|------------|--|-----------|----------------|
| 1 福祉・保健 | 地域福祉・高齢者福祉 障がい者福祉・児童福祉 健康づくり 医療・健診・保健予防 介護保険・介護予防事業 国民健康保険 ほか | 長寿社会課 | 9:35~9:55 |
| | | 福祉課 | 9:55~10:15 |
| | | 子ども支援課 | 10:15~10:35 |
| | | 健康推進課 | 10:45~11:05 |
| | | 介護保険課 | 11:05~11:25 |
| | | 国保年金課 | 11:25~11:45 |
| 2 安全・安心 | 防災のまちづくり 交通安全・防犯 道路や河川の管理・整備 都市計画 住みよいまちづくり | 危機管理課 | 9:35~9:55 |
| | | 地域づくり課 | 9:55~10:15 |
| | | 監理課 | 10:15~10:35 |
| | | 建設課 | 10:45~11:05 |
| | | 都市計画課 | 11:05~11:25 |
| | | 建築住宅課 | 11:25~11:45 |
| 3 観光・産業 | 農業・地域資源の活用 商業・工業・観光など | 農政課 | 9:35~10:05 |
| | | 耕地林務課 | 10:05~10:35 |
| | | 商工労政課 | 10:45~11:15 |
| | | 観光交流促進課 | 11:15~11:45 |
| | | | ※各課30分としました。 |
| 4 教育 | 学校教育・生涯学習 図書館利用促進 文化財の管理 | 学校教育課 | 9:35~10:05 |
| | | 生涯学習課 | 10:05~10:35 |
| | | 図書館交流課 | 10:45~11:15 |
| | | 文化課 | 11:15~11:45 |
| | | | ※各課30分としました。 |
| 5 まちづくり | 財政、総合計画、議会、市民 協働など | 政策経営課 | 9:35~9:55 |
| | | 地域づくり課 | 9:55~10:15 |
| | | 議会事務局 | 10:15~10:35 |
| | | 財政課(収納課) | 10:45~11:05 |
| | | 税務課 | 11:05~11:25 |
| | | 人権男女共同参画課 | 11:25~11:45 |
| | | 上水道課 | 9:55~10:15 |
| | | 下水道課 | 10:15~10:35 |
| | | 環境課 | 10:45~11:05 |
| | | 廃棄物対策課 | 11:05~11:25 |

③学習のまとめ (11:45~12:00)

※質問 学校を通じて学校教育課(一色)へ

◎第2回 8月27日(土) 9:00~12:00 (本庁舎3階305、306会議室)

- (1) アイスブレイキング 9:00~9:10
 (2) グループ学習 9:10~

※自己課題の発表・討議と担当課からのアドバイス

- ①自己課題の発表と討議..... 9:10~9:40
 ・第1回の学習会を受けて、疑問に思ったことや考えたことなどを発表
 ・質問意見についてお互いに考えを述べ合う。〈主権者教育〉
 ②担当課からアドバイス..... 9:40~10:30

| NO.グループ名 | 担当する課 | 備考 |
|------------|---|--|
| 1 福祉・保健 | 長寿社会課・福祉課・子ども支援課 健康推進課・介護保険課・国保年金課 | ※事前に意見質問をとり、参加する課に出席依頼をする。 ※学習会の中で出された質問について、担当課がない場合には後で聞き取り、伝達する。 |
| 2 安全・安心 | 危機管理課・地域づくり課 監理課・建設課・都市計画課・建築住宅課 | |
| 3 観光・産業 | 農政課・耕地林務課 商工労政課・観光交流促進課 | |
| 4 教育 | 学校教育課・生涯学習課 図書館交流課・文化課 | |
| 5 まちづくり | 政策経営課・財政課(収納課) 地域づくり課・人権男女共同参画課 議会事務局・税務課 | |
| 6 環境 | 経営管理課・上水道課・下水道課 環境課・廃棄物対策課 | |

- (3) 議会に向けて (10:45~12:00)
 ①質問項目の選定 10:45~11:30
 ②質問案の作成に向けて 他 11:30~12:00
 ※質問 学校を通じて学校教育課(一色)へ

| | |
|---------------|-----------------------|
| 報告第2号 | 教育部 図書館交流課 |
| 平成28年11月25日提出 | (課長)高嶋 俊明 (担当係長)財津 達弥 |

| | |
|-------------|---|
| タイトル | 安曇野市図書館協議会・安曇野市交流学習センター運営委員会合同会議の「報告書～安曇野市交流学習センター(施設)及び安曇野市図書館における管理運営の方向性について～」の提出について |
| 報告を要する事項の内容 | |
| 要旨 | <p>1 内容 平成27年5月26日から平成28年11月8日まで、安曇野市交流学習センター運営委員会で11回にわたって、また平成27年6月30日から平成28年11月8日まで、安曇野市図書館協議会で10回にわたって、安曇野市交流学習センター(施設)及び安曇野市図書館における管理運営の方向性について調査、研究を行ってきた。これまでの検討結果をまとめた報告書の提出。</p> <p>2 提出日 平成28年11月25日</p> |
| 説明 | <p>安曇野市教育委員会からの以下の問題提起に対する報告書(当日配布)。</p> <p>問題提起の内容</p> <p>市民ニーズの拡大・多様化に対応した行政サービスの向上に向け、事務事業の見直しによる効率化の実現と、適切な市職員の定員管理による行政組織のスリム化を図っていくことが不可欠である。</p> <p>今後、安曇野市交流学習センター(施設)及び安曇野市図書館の効果的な管理運営のため、アウトソーシング(外部化)を積極的かつ計画的に推進し、業務の効率化を図っていく必要があると思われる。</p> <p>交流学習センター運営委員会及び図書館協議会は、上記の提起された課題について、安曇野市や他の自治体の類似施設の現状等を把握するため、視察や関係者等の意見も参考にしながら検討会議を重ね、検証、討議した。</p> <p>その検討内容と提言を報告書としてまとめていただいた。</p> |

| | |
|----------------|--------|
| 報告事項第3号 | 教育部 各課 |
| 平成28年11月25日提出 | |

| | |
|--|-------------------------------|
| タイトル | 後援依頼の教育長専決分の報告について |
| 報告を要する事項の内容 | 教育長専決に伴う報告 |
| 要旨 | 生涯学習課 14件 文化課 2件 (詳細別紙) |
| <p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p> | |

教育部 生涯学習課 共催・後援台帳(平成28年度11月定例会専決報告事項)

| No. | 受付日 | 所管 | 件名 | 申請者 | 主催者(団体) | 種別 | 申請理由 | 申請日 | 開催日 | 専決 | 理由 | 承認 | 承認(専決)日 | 会場 | 開催目的(趣旨) | 開催内容 | H27 | H26 | H25 | 所管課意見 |
|-----|-----------|----------|-------------------------------|----------------------------|----------------|----|---|--------|-----------------------------------|----|------|----|---------|----------------------|---|---|-----|-----|-----|--------------|
| 57 | H28.10.11 | スポーツ推進担当 | 第15回市民タイムス杯争奪硬式野球 安曇野リトルリーグ大会 | 安曇野卓球連盟 伊藤 勝 | 株式会社 市民タイムス | 後援 | 小学2年生から6年生が対象であること。 | 10月7日 | 平成28年10月22日(土) 〔予備日:10月23日(日)〕 | ○ | 過去承認 | ○ | 10月18日 | 高家スポーツ広場 | 松本3(茅庄内)ジャガーズ・波田・松本東)・塩尻・安曇野地区リトルリーグによる少年硬式野球大会で、同級・友達・規律を養うことを目的に開催する。 | 豊科・堀倉・三郷・安曇野穂高の4リトルリーグと波田・塩尻・茅庄内ジャガーズ・松本東の4リトルリーグの計8リトルリーグによるトーナメント戦。 参加料:1リトルリーグ10,000円 | ○ | ○ | — | 基準第4条第2号により可 |
| 58 | H28.10.13 | スポーツ推進担当 | 平成28年「第11回安曇野ラウンジボール卓球大会」 | 安曇野卓球連盟 会長 西村 義夫 | 安曇野卓球連盟 | 後援 | 社会教育の一環として必要。 | 10月9日 | 平成28年11月6日(日) | ○ | 過去承認 | ○ | 10月18日 | 豊科勤労者総合スポーツ施設体育館 | 中高年者(30歳以上)を対象に生涯スポーツの一つとして、卓球競技を通して楽しく親しむ者の拡大を図る。 | 競技方法:男女混合チームによる団体戦。3ダブルスによる予選リーグ及び決勝トーナメント方式。 参加料:1人1,000円 | ○ | ○ | ○ | 基準第4条第2号により可 |
| 59 | H28.10.18 | 社会教育担当 | 第111回 信州発達障害研究会講演会 | 信州発達障害研究会 陸旗 勝道 | 信州発達障害研究会 | 後援 | 講演会が市の講演を得て行っていただくのと分かるとより参加しやすいため。 | 10月15日 | 平成28年12月4日(日) | ○ | 過去承認 | ○ | 10月20日 | 塩尻市レザンホール中ホール | 発達障害についての啓発活動 | 大人の発達障害についての講演会 テーマ:「大人の発達障害と就労支援」 講師:よこはま若者サポーターチーム 副施設長 臨床心理士 池田 彩子 | ○ | ○ | ○ | 基準第4条第2号により可 |
| 60 | H28.10.19 | 社会教育担当 | みんな!乗鞍にスキーに行こうよ!! | 乗鞍高原キッズキャンプ 事務局 中 原 由紀子 | 乗鞍高原キッズキャンプ | 後援 | 事業の趣旨をご理解いただき、多くのご家庭にパンフレットをお配りいただきいたため。 | 10月17日 | 平成28年12月28日(水)~平成29年3月5日(日)の学校休業日 | ○ | 過去承認 | ○ | 10月20日 | 松本市乗鞍高原 Mt.乗鞍スキーリゾート | スキーの技術習得を主目的に、集中して練習する。また、家族と離れ2日間他地域の厚雪と共に生活することで心身の自立のきっかけとなり、協調性を育み、思いやりの心や頑張る心を育てる。 | スキーレッスン、宿題・ミーティング 参加費:16,800円(1泊2日) | ○ | ○ | ○ | 基準第4条第2号により可 |
| 61 | H28.10.21 | スポーツ推進担当 | 第32回あずみ野少年バスケットボール大会 | 安曇野市バスケットボール協会 会長 古澤 栄一 | 安曇野市バスケットボール協会 | 後援 | 競技の底辺拡大を目標として、また、子どもたちの交流の場として開催するため、市の後援をお願いしたい。 | 10月21日 | 平成28年12月10日(土)・11日(日) | ○ | 過去承認 | ○ | 10月27日 | 堀金総合体育館、堀金小学校体育館 | 安曇野市のミニバスケットボールの底辺拡大及び競技力向上を目指し、他の地域からチームを招き試合を実施する。 | 競技方法:トーナメント方式とする(ただし敗者戦も加える)。低学年の交流試合、フリースロー大会又はチャレンジシナゲームも実施する。 参加料:1チーム1,000円 | ○ | ○ | ○ | 基準第4条第2号により可 |

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成28年度11月定例会専決報告事項)

| No. | 受付日 | 所管 | 件名 | 申請者 | 主催者(団体) | 種別 | 申請理由 | 申請日 | 開催日 | 専決 | 理由 | 承認 | 承認(専決)日 | 会場 | 開催目的(趣旨) | 開催内容 | H27 | H26 | H25 | 所管課 意見 |
|-----|-----------|------------------|--|--|--|----|---|--------|--------------------------------------|----|------------------------|----|---------|--|--|---|-----|-----|----------------------|----------------------|
| 62 | H28.10.25 | 社会 教育 担当 | 2016 Azumino.光のベ ンジェント | Azumino.光のベ ンジェント実 行委員会 実行委員 長 下里 強 | Azumino.光 サッカー協 会(主催) 実行委 員会 | 後援 | 子供たちのイベ ント参加促進及 び来場者に子供 たちの心を育む 事業として広く周 知するため。 | 10月25日 | 平成28年12月3 日(土)から平成 29年1月31日(火) | ○ | 過去 承認 | ○ | 10月25日 | 安曇野市豊 科南運動高 校南野の 「安曇野の 里」 | 子供たちに夢と希望を与える と共に、地域の活性化と観光 地づくりを目的とする。また、 市民がボランティアとして関 わることで市民間交流の促 進を図る。 | ・市民ボランティアによる手づく りのイルミネーションイベント ・安曇野市制施行10周年記念 市民提案事業(継続事業) | ○ | - | - | 基準第4 条第2号 により可 |
| 63 | H28.10.26 | スポー ツ推進 担当 | 第9回安曇野市長杯争 奪少年サッカー大会 | 中村 会長 博師 | 安曇野市協 会(主催) 南野少年 サッカー クラブ | 後援 | 市内スポーツ少 年団加盟8チー ムが参加するた め。 | 10月25日 | 平成28年11月26 日(土)・27日 (日) | ○ | 過去 承認 | ○ | 11月1日 | 西穂高運動 場、有明運 動場 | 大会を通じて相互の親睦と 団結を深めながら、サッカー 技術の向上を目指すとともに 、フェアプレーの精神の大切 さを学ぶことを目的とする。 | 参加チーム:安曇野市内9チ ームをはじめ昨年度大会上位3 チーム及び主催者推薦の県内 計24チーム 競技方法:26日予選リーグ戦、 27日決勝トーナメント戦 参加料:1チーム3,000円 | ○ | ○ | ○ | 基準第4 条第2号 により可 |
| 64 | H28.11.1 | スポー ツ推進 担当 | 平成28年度長野県高 等学校新人バレーボール競技 大会(兼)第60回長野 県高等学校新人バス ケットボール選手権大 会 | 荒木 部長 博明 | 長野県高 等学校体 育連盟、長 野県教育 委員会 | 後援 | 高校生の大会で あり、バレーボールの試合を 通じて健全な高 等学校生徒の育 成を図ることを 目的としている ため。 | 10月26日 | 平成28年12月2 日(金)～4日 (日) | ○ | 長野 県教育 委員会 主催 | ○ | 11月7日 | 種高総合体 育館、松本 平広城公園 体育館、松 本市総合体 育館 | バスケットボールの試合を通 じて健全な高等学校生徒の 育成を図る。全国高校総体 への出場チームを決定する。 39回高等学校新人バスケット ボール選抜優勝大会(長野県 本開催)への出場権を得る。 | 各地区代表男女各8チームによ るトーナメント戦。 参加料:1,000円 男女とも上位各4位までのチー ムは、平成28年度北信越高等 学校新人バスケットボール選手 権大会(長野市開催)及び、第 39回高等学校新人バスケット ボール選抜優勝大会(長野県本 開催)への出場権を得る。 | - | - | - | 基準第4 条第1号 により可 |
| 65 | H28.11.2 | スポー ツ推進 担当 | 平成28年度小学生バ レーボール大会アルブ スすこやか杯 | 総務委員 長 中村 治人 競技委員 長 山越 優一 | 安曇野小 学生バ レーボ ール連 盟 | 後援 | 安曇野市の体育 施設や教育委員 会の学校施設を 借りて大会を開 催する。開催地 内外児童の親睦 とバレーボール による体位向上 と体力養成を図 る。 | 11月1日 | 平成28年12月11 日(日) | ○ | 過去 承認 | ○ | 11月7日 | 豊科勤労者 総合スポー ツ施設体育 館、種高東 中学校体育 館、穂高西 中学校体育 館、明科体 育館、明南 小学校体育 館、明科中 学校体育館 | 競技方法:リーグ戦及びトーナ メント方式、フリーポジション・ 6人制競技規則により実施。試 合は、男子・女子とも5年生以 下の部とする。 参加料:1チーム3,000円 | ○ | ○ | ○ | 基準第4 条第2号 により可 | |

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成28年度11月定例会専決報告事項)

| No. | 交付日 | 所管 | 件名 | 申請者 | 主催者(団体) | 種別 | 申請理由 | 申請日 | 開催日 | 専決 | 理由 | 承認 | 承認(専決)日 | 会場 | 開催目的(趣旨) | 開催内容 | H27 | H28 | H25 | 所管課 意見 |
|-----|----------|------------------|--------------------------------------|---------------------------|-------------------------------|--------------------|--|---------------------|----------------------|---------------|------|------|---------|---------------------|---|---|-----|----------------------|----------------------|----------------------|
| 66 | H28.11.2 | 社会 教育 担当 | おてんばたちのクリスマス会 | ガールスカウト 長野県第38回 | 回委員長 竹内 美智 子 | ガールスカウト 長野県第38回 | 後援 | 皆さんが安心して参加していただけるため | 11月2日 | 平成28年12月4日(日) | ○ | 過去承認 | 11月8日 | 安曇野市 まちづくり会 館 | ガールスカウトの活動を多くの方に知っていただきたい。 | ゲーム、ビンゴ大会、スカウトカフェ 参加費200円 年中～小学2年生の女子親子 20組 | - | ○ | - | 基準第4 条第2号 により可 |
| 67 | H28.11.2 | スポー ツ推進 担当 | 平成28年度HOTAKA冬季ソフトバレーボールフェスティバル | 穂高ソフトバ レーボールクラ ブ | 安曇野市ソ フトバレーボ ール連 盟 | 後援 | 地域におけるソフトバレーボールの普及に貢献すると共に、選手相互の技術向上を図るため。 | 11月2日 | 平成28年12月4日(日) | ○ | 過去承認 | ○ | 11月14日 | 穂高総合体 育館 | 安全で、やさしく、みんなで楽しめるソフトバレーボールをつくり、魅力的で発展性のあふれる競技会にすることを目的とし、楽しく思い出深く、意義あふれるものとなるようにする。 | 高校生を除く、18歳以上の社会人によるソフトバレーボール大会。40チーム(240名)が参加予定。 競技方法:予選グループ戦後、決勝トーナメント戦を行う。 参加料:1チーム4,000円 | ○ | ○ | 基準第4 条第2号 により可 | |
| 68 | H28.11.7 | 社会 教育 担当 | 第3回 あるふすタウン | 松本大学 | 松本大学 地域づくり 考務 | 後援 | 安曇野市教育委員会の協力によりリタスの参加を図るため。 | 11月4日 | 平成29年2月18日(土)～19日(日) | ○ | 過去承認 | ○ | 11月8日 | 松本大学 5号館 他 | 子ども(小学4年生～中学生を対象)にまちづくりや職業体験を通して社会に実在する仕事をプロから学ぶ、仕事ブース出展の予定。 ・アガ子ミニブース出展も企画 ・あるふすタウンの中で、体験を通して社会の仕組みを知る。 ・あるふすタウンの街を構成する仕事ブースを通して社会に実在する仕事をプロから学ぶ ・仕事ブース出展の予定 ・アガ子ミニブース出展も企画 | ○ | ○ | 基準第4 条第2号 により可 | | |
| 69 | H28.11.7 | スポー ツ推進 担当 | 平成28年度長野県中学校剣道ジュニア強化大会兼新人戦県大会 | 長野県中学校 剣道ジュニア強 化委員会 | 長野県中 学校剣道 ジュニア強 化委員会 | 後援 | 県レベルでの大会を開催できる会場を確保するため。 | 11月4日 | 平成28年12月3日(土) | ○ | 過去承認 | ○ | 11月14日 | 三郷文化公 園体育館 | 長野県4地区(東・中・南・北信地区)の代表が集まり、技を競い合い、又交流を深めるため。 | 試合方法:男女個人トーナメント戦、男女団体予選リーグ、決勝トーナメント戦 | ○ | - | 基準第4 条第2号 により可 | |
| 70 | H28.11.7 | スポー ツ推進 担当 | 平成28年度第23回安曇野卓球連盟会長杯争奪卓球大会(個人の部・複の部) | 安曇野卓球連 盟 | 安曇野卓 球連盟 | 後援 | 社会教育の一環として必要。 | 10月31日 | 平成28年12月11日(日) | ○ | 過去承認 | ○ | 11月14日 | 穂高総合体 育館 | 卓球競技を通して地域の融和と交流を図るとともに、卓球技術の向上と親睦を深める。 | 競技種目:小学生1～4年生男子の部、女子の部、小学生5～6年生男子の部、女子の部、中学生男子の部、女子の部、一般(高校生以上)男子の部、女子の部、一般(高校生以上)男子の部、女子の部 競技方法:新種目ごと予選リーグ戦、決勝トーナメント戦 参加料:小・中学生600円、一般(高校生以上)1,000円、一般ダブルス(1組)1,500円 | ○ | ○ | 基準第4 条第2号 により可 | |

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成28年度11月定例会専決報告事項)

| №. | 受付日 | 所管 | 件名 | 申請者 | 主催者 (団体) | 種別 | 申請理由 | 申請日 | 開催日 | 専決 | 理由 | 承認 | 承認(専決)日 | 会場 | 開催目的(趣旨) | 開催内容 | H27 H26 H25 | 所管課 意見 | |
|----|-----------|----|----------------|-------------------------|-------------------------|----|---|--------|---|----|------|----|---------|-----------------------|--|--|-------------|-----------|--------------|
| 72 | H28.10.14 | 文化 | Duo Recital | 松田紫帆 | 松田紫帆 | 後援 | 安曇野市内で演奏を開催するにあたり、市内にチラシを配布するため。 | 10月7日 | 平成29年 2月18日(土) | ○ | 過去承認 | | 10月18日 | 穂高交流学習センター「みらい」多目的ホール | ピアノとヴァイオリンによる 松本、安曇野、大町近辺在住の方を対象とし、気軽に楽しめる演奏会を開催することにより、より芸術に親しみを持ってもらう事を目的とする。 | ピアノとヴァイオリンのコンサート。 ・入場料:大人1500円(当日2000円)、高校生以下500円(当日800円) 他の後援申先:大田市教育委員会、NEXT(長野県若手芸術家支援事業)、松本平タウン情報、大糸タイムス | ○ | ○ | 基準第4条第2号により可 |
| 75 | H28.10.24 | 文化 | 第44回安曇野子ツッパ研究会 | 安曇野子ツッパ研究会 委員長 二木 福治 | 安曇野子ツッパ研究会 委員長 二木 福治 | 後援 | 市民を中心とする美術愛好者で、所属団体の有無にかかわらずに人体子ツッパを学ぼうと希望する人が、安心して参加できる場とした。 | 10月24日 | 平成28年 12月27日(火) (会場準備) 平成29年 1月5日(木) 7日(土) | ○ | 過去承認 | | 10月27日 | 礪山公園 研成ホール | 絵画・彫塑制作の基本となる人体子ツッパを学ぶ機会が少ない当地で、学びあう場を設けるとともに、芸術分野における生涯学習の補助とした。 | デッサン会 モデルを招いて3日間行う。 ・参加料:1日3000円、2日間5000円、3日間7000円 ・参加の受付は当日の朝より行う。 | ○ | ○ | 基準第4条第2号により可 |

報告第4号

平成28年度事業進捗状況報告（懸案事項等） 《学校教育課》

教育総務係

| 事業（懸案事項） | 現況 | 今後の取り組み |
|--------------|---|--|
| 教育委員の改選等 | <p>11月8日の宮澤 豊弘教育委員の任期満了を受け11月9日に市長から二村 美智子氏が教育委員に任命された。このことから、第1回臨時教育委員会を開催し、新体制を決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月8日（火） 宮澤委員退任式 ・11月9日（水） 特別職辞令交付（新教育委員） <p>○第1回臨時教育委員会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐木 博夫委員長、須澤職務代理者を選出 ・臨時会終了後、就任式開催 | |
| 平成29年度予算編成作業 | <p>平成29年度安曇野市予算編成方針（別紙）</p> <p>1 平成29年度予算要求期間（システム入力期間）</p> <p>(1) 実施計画分 平成28年10月24日（月）～11月9日（水）</p> <p>(2) その他分 平成28年11月11日（金）～11月21日（月）</p> | <p>財政担当ヒアリング</p> <p>財政課長査定</p> <p>財政部長査定</p> <p>理事者査定の実施</p> <p>市議会3月定例会への上程</p> |
| 教育要覧の発行 | 早急に発行予定 | |

学校庶務担当

| 事業（懸案事項） | 現況 | 今後の取り組み |
|----------|---|------------------------|
| 学校予算編成作業 | <p>10月11日 学校向け予算編成方針説明会</p> <p>11月7日～9日 各学校予算要求ヒアリング実施</p> <p>予算要求取りまとめ</p> | <p>財政方針に基づき、予算編成作業</p> |

平成 29 年度 安曇野市予算編成方針

市の予算編成は、健康長寿のまちづくりを最優先として、健康寿命の延伸に取り組み、同時に子育て支援の充実強化も進めてきた。

また、新市建設計画に基づく施設の整備や、市民と行政が協働・連携を深め、恵まれた自然環境の保全と産業機能や生活機能がバランスよく配置された魅力的な都市環境の創造に努め、成長・発展する地域を目指して各種施策の具体化にも取り組んだ。

「安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「2040（H52）年度目標人口 83,000 人の田園産業都市 安曇野」の実現に向けた 4 つの基本目標「①新たな雇用を生み出す、②若者や女性が活躍できるまちをつくる、③安心して出産し子育てできるまちをつくる④いきいきと暮らせるまちをつくる」を掲げた。数値目標を達成するため引き続き取り組みを進める。さらに、現在の取り組みに加え整備した施設を有効に活用したソフト事業の実施など、効果的な施策を見定めていく必要がある。

1 国の政策と地方財政の課題

【政策の動向】

「経済財政運営と改革の基本方針2016」では、前年に引き続き「経済・財政再生計画」の枠組みの下、経済再生と財政再建の双方同時に実現していくため、「公的サービスの産業化（企業連携によるサービス提供）」、「インセンティブ改革（頑張れば報われる制度）」、「公共サービスのイノベーション（革新・先進的な取組の普及）」の取組みを特に推進することとしている。

また、歳出全般にわたりこれまでの改革の取組みを強化するとともに、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、手を緩めることなく本格的な歳出改革に取り組むとした。

総務省は、国の取り組みと基調を合わせ、地方においても歳出の重点化・効率化に取り組むとして、財政運営に必要な一般財源総額を確保したとする。地方交付税についても、極めて厳しい地方財政の現状及び現下の経済情勢を踏まえ、本来の役割である財源調整機能と財源保障機能が適切に発揮されるよう、総額を適切に確保し、一億総活躍社会の実現に向けた取組みを進め、自主性・主体性を最大限発揮して地方創生を推進することができるよう安定的な税財政基盤も確保するとし、防災・減災対策を推進するための地方財政措置を充実するとした。

2 安曇野市の取組み

【市の状況と取組み】

平成27年度一般会計決算は、各支所の改修改築、学校施設の大規模改造や耐震化など大型の施設整備事業が重なり、昨年に続き400億円超の決算となる412億円の歳出決算額であった。施設整備等の財源として45億2千万円の市債を活用したが、新庁舎建設事業の終了等により発行額は前年比で35億円の減額となった。

合併特例債などの活用により27年度末の市債残高は一般会計で420億円、市全体として870億円の残高となり、財政健全化比率における将来負担比率は20.0%から22.5%へ増加している。

市の財政運営上の主要な財源である普通交付税は、本年度より合併特例加算措置の段階的減額が始まった。28年度算定では、普通交付税102億3千8百万円の内14億3千7百万円が算定替加算分であるが、段階的減額分にあたる1億4,000万円がすでに減額されており、今後4年間かけて合併特例による加算額は減額される。そのため普通交付税交付額の縮減を見据えた歳出効率化・経営効率化を進め、予想される厳しい行財政運営に対応していく必要がある。

よって、予算編成にあたっては29年度より取り組むこととした「行財政のスリム化」、また、安曇野市創生総合戦略に基づく事業は成果目標の達成を目指すとともに、既存施策事業についても事業成果や数値的目標の検証を行ない、将来にわたって持続する「健康寿命日本一の安曇野」を目指し、全部局が一丸となりスピード感を持って取り組むものとする。

【予算編成の基本方針】

平成29年度当初予算の予算編成にあたり、下記のとおり「基本方針」を定める。

1 行財政のスリム化に向けた取組み

予算編成においては、財務会計システムを活用し、「実施計画 - 予算編成 - 施策評価」を事業単位で検討し、「行財政のスリム化」に取り組むこと。

また、普通交付税の段階的減額に見合う歳出予算の抑制を図るため、27年度決算額を基準とした一般財源枠による予算要求とすること。

2 重点施策等に沿った年間予算の編成

第1次安曇野市総合計画の集大成となる年を迎え、掲げた将来像の実現に向けた施策は優先的に取り組む。

まち・ひと・しごと創生に係る「人口ビジョン」及び「総合戦略」に係る事業は、数値目標達成に向けた取組を進めるとともに、本年度の成果が見込めるよう内容を精査すること。

3 事業の既得権化の防止

予算の肥大化を防ぐために、事業の執行期限を付け、当初の目的を達成した事業の廃止を行なうとともに、事務的経費を削減すること。

4 国・県等補助事業の活用

国、県及び他団体等の補助制度を的確に把握し、補助対象となるものは積極的に活用するとともに、制度の変更等に的確に対応し、遺漏なきように補助要望すること。

5 施設の有効な活用と経費の節減

整備した施設を有効に活用し、市民サービスや利便性の向上を図るとともに、公共施設再配置計画に基づく施設管理計画の具体化をすすめること。

6 義務的経費の見直し

義務的経費であっても、法令等に係るもの以外は見直しの対象とし、近隣団体の水準等も踏まえ、給付水準や助成対象について見直しをすすめること。

7 部局連携事業の調整

組織の連携・協力を伴う事業については、関係部局で調整を行い、事業の効率化や経費の削減を行なうこと。

8 財政計画との整合及び行政評価等の的確な反映

財政計画に沿った予算要求を行ない、健全な財政運営、年度間実施事業の平準化を図ること、行政評価等の結果を反映した要求とすること。

9 特別会計の財政運営

各会計の設置目的に沿った、経営合理化と経費の節減に努め、独立採算の原則を遵守すること。なお、繰出金は法定負担割合や繰出基準の範囲内とする。

【重点施策と推進政策】

(1) 健康長寿のまちづくり

- イ 「健康寿命日本一」を目指し、介護予防・健康管理等の推進を図る取組み
- ロ 「いきいきと暮らせるまちをつくる」取組み（総合戦略）
- ハ 生活習慣病予防活動の充実や歯科口腔保健の推進・健康診断の受診率向上に向けた取組み
- ニ 市歌体操の普及事業など健康づくりの推進に向けた取組み
- ホ 老若男女が個々の特性を生かした「生きがい」を創出する取組み

(2) 豊かな人を育むまちづくり

- イ 「安心して出産し子育てできるまちをつくる」「若者や女性が活躍できるまちをつくる」取組み（総合戦略）
- ロ 小規模保育事業や子育て総合相談窓口設置の検討など、子育て支援の充実に向けた取組み
- ハ 心身の健康増進と技術向上を目指した生涯スポーツ活動の推進を図る取組み
- ニ 国際感覚豊かな人づくりや特色ある学校教育等により次代を担う「人財」の育成を推進する取組み
- ホ 郷土の伝統・文化などを継承し芸術文化活動の振興を図る取組み

(3) 活力あふれるまちづくり

- イ 「新たな雇用を生みだす」取組み（総合戦略）
- ロ 「安曇野暮らしツーリズム」の実現に向けた交流人口の拡大を図る取組み
- ハ 山岳観光と平地観光の連携を強化し、広域観光の推進を目指す取組み
- ニ インバウンドを見据えた安曇野の着地型観光（体験・交流型）に向けた取組み
- ホ 商店街の活性化と企業の本社機能誘致等活力ある商工業の振興を目指す取組み
- ヘ ものづくりの技術と技能を継承・高度化できる人材の確保・育成を目指す取組み
- ト 農業の担い手育成と特産品の販路拡大によるマーケティング（稼ぐ農業）の強化に向けた取組み
- チ 地域資源を活用した産業モデルへの取組み

(4) 環境を守り、安全・安心なまちづくり

- イ 環境にやさしい生活スタイル（循環型社会）の創出に向けた取組み
- ロ 地下水の保全・涵養など、適正利用に向けた取組み
- ハ 森林環境を守り、豊かな里山再生を目指す取組み
- ニ 緑のまちづくり事業による住宅地の緑化推進を図る取組み
- ホ 自主防災組織などのすべての人が助け合える仕組みづくりに向けた取組み
- ヘ 誰もが安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりに向けた取組み
- ト 総合的な交通安全対策に取組む活動の充実に図り、地域住民と協働する防犯活動に関する取組み

(5) 協働によるまちづくりと行政サービスの向上

- イ 地域コミュニティ（区）への加入促進に向けた取組み
- ロ 自治組織との協働や連携強化及び、自治組織の活用に対する支援の取組み
- ハ 市民の視点に立った行政運営を図り「地域と行政の連携を強化」する取組み
- ニ 市民サービスの充実に基本に健全財政を維持するため、経費削減と事務事業の効率化に向けた取組み
- ホ 自治基本条例によるまちづくりの推進に向けた取組み

平成 28 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

社会教育総務費事業

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み |
|---|--|---|
| 社会教育委員の会 予算額：413 千円 | 4/28 中信地区理事会 5/25 第 1 回会議 議 長・・・細田 利章さん 副議長・・・平田 米子さん 平成 27 年度事業報告、平成 28 年度事業計画 5/27 中信地区総会 6/15 県総会 7/ 4 中信地区理事会 9/28 県研究大会 10/6 社会教育委員の会 10/13 中信地区秋の研修会 10/27. 28 関東甲信越静研究大会 | 12/1 ブロック別研修会 2/17 中信地区理事会 3/下旬 第 3 回会議 |
| 第 2 次生涯学習推進計画策定 予算額：2,213 千円 | 5/10 政策会議 5/15 部長会議 5/24 教育委員会定例会 6/ 9 部内業者選定委員会 6/21 業務委託契約 7/27 市民会議 進捗状況の確認、・第 2 次計画策定スケジュール、市民アンケートの素案確認、第 2 次計画への要望 8/22 教育委員会定例会 策定プロジェクト会議設置規程新設 市民会議設置要綱附則改正 9/28 策定プロジェクト会議① 10/ 6 社会教育委員の会 10/20 教育委員会定例会 11/16 市民アンケート発送 2,500 人対象 ～30 市民アンケートの実施 | 1/ 策定プロジェクト会議② 3/ 策定プロジェクト会議③ |
| 安曇野市人権・平和特別授業 ～kizuki～ 予算額：2,400 千円 | ○事業説明 4/8、4/20 校長会 4/21 小学校長会 5/24 学校学年主任との協議 6/9 部内業者選定委員会 9/26 小学校へ原稿用紙配布 10/ 6 イオン豊科店 駐車場借用依頼 10/11 劇団ボプラとの打合せ 11/14 安曇野市人権・平和特別授業 場所：豊科公民館ホール 市内小学校 10 校 4 年生 880 人 来賓 65 人 内容：市歌斉唱 「私たちが思う平和 -みんなが仲良くするために-」発表 ミュージカル「とべないホテル」鑑賞 | 12/16 感想文締切 |

生涯学習推進費

| 事業（懸案事項） | 現況 | 今後の取り組み |
|------------------------------|--|--|
| <p>安曇野検定 予算額：1,414千円</p> | <p>○実施方法の検討 概要 基本編・・・過去5年間の問題から出題 講座編・・・平成28年度準備講座から出題 ジュニア・・・過去5年間の問題から出題 ○講座内容の決定 6/15 「広報あづみの」による告知 準備講座 7/14 第1回「松沢求策と自由民権運動」 講師 中島 博昭さん（地域史研究家） 参加者 59人 7/21 第2回「『一山百楽』田淵 行男」 講師 斉藤 省三さん（田淵行男記念館館長） 参加者 62人 7/28 第3回「北アルプス登山道開拓者たち」 講師 関 悟志さん （市立大町山岳博物館学芸員） 参加者 66人 8/ 4 第4回「『常念を見よ』佐藤 嘉市」 講師 橋渡 勝也さん （安曇野市教育委員会 教育長） 参加者 66人 8/18 第5回「『安曇野の昔話』の主人公たち」 講師 浜野 安則さん（歴史民俗学研究者） 参加者 68人 9/ 8 第6回「『興味津々あづみの FOOD』展から -日常食と儀礼食-」 講師 倉石あつ子さん（新市立博物館準備室員） 参加者 55人 9/29 第7回 「拾ヶ堰開削200年」 講師 逸見 大悟さん（文化課 学芸員） 参加者 65人 10/6 第8回「萩原守衛-愛は芸術なり相剋は美なり-」 講師 武井 敏さん（碌山美術館 学芸員） 参加者 59人 10/20 第9回「相馬愛蔵と黒光【前編】」 講師 高原 正文さん（信濃史学会理事） 参加者 61人 10/27 第10回「相馬愛蔵と黒光【後編】」 講師 高原 正文さん（信濃史学会理事） 参加者 59人 ※延べ受講者数 620人</p> | <p>12/5、19 検定問題検討会議 12/7 広報あづみの 検定告知 12/15 校長会 ジュニアの部周知 1/29 平成28年度安曇野検定</p> |

| 事業(懸案事項) | 現況 | 今後の取り組み |
|-----------------------|--|--|
| 市民大学講座 予算額：1,047千円 | 8/17 「広報あづみの」による告知 9/10 市民大学講座特別編「心地よい日本語」 講師 金田一 秀穂さん(杏林大学外国語学部教授)参加者300人 市民大学講座信州大学編 9/27 基礎から分かる放射能・放射線 講師 矢部 正之教授(高等教育研究センター) 参加者37人 10/4 インターネットの心理学 講師 佐藤 広英准教授(人文学部) 参加者41人 10/13 昔話・民話のナゾを解く 講師 藤森 裕治教授(教育学部) 参加者69人 10/18 地質探偵と探る北アルプスの生い立ちの謎 講師 原山 智教授(理学部) 参加者76人 11/1 感染症から身を守る 講師 金井信一郎助教(医学部) 参加者37人 ※延べ受講者数260人(信州大学編) | |
| 日本語教室 予算額：395千円 | ○豊科、穂高、堀金毎週日曜に、三郷は土曜日に開催(明科休講中) 6/8 第1回ボランティア講習会 15人参加 講師：佐藤 佳子さん (松本市地域日本語教育システムコーディネーター) | 3月 ボランティア講座 |
| 学校開放講座 予算額：300千円 | ○社会教育法第48条による講座 4/7 開催依頼通知 5/12 回答期限 1小学校、1中学校、4高校 全13講座 80回開催予定 5/3～12/19 南安曇農業高校「青空と緑の中で」 7/23～11/19 穂高商業高校「日商簿記検定3級講座」 7/23～8/6 明科高校「パソコン講座 エクセル」 7/23～10/29 明科高校「安筑地方の民族Ⅱ」 8/27～9/4 穂高商業高校「エクセル中級講座」 10/8 穂高商業高校「パソコン入門 Word 初級編」 11/8 穂高商業高校「ワードで年賀状を作成しよう！」 11/19 豊科高校「クラシックギター入門」 11/19～1/21 穂高南小「めざせ！けん玉名人」 11/23 豊科南中「Wordの画像編集機能を使った自画像制作」 | 11/26 豊科高校「篆印～自分の印を刻る～」 12/18 豊科高校「本格的ハードカバー製本」 |
| 美的カレッジ 予算額：40千円 | ○市内在住又は在勤の20歳から40歳以下の女性対象の講座 4/23 フラワーアレンジメント 14人 5/29 テーブルマナー 19人 8/6 カメラ講座 14人 10/22 ヨガ 7人 | 12/17 簡単おせち料理 |

人権教育推進事業

| 事業(懸案事項) | 現況 | 今後の取り組み |
|----------------------|---|--|
| 人権尊重作文集 予算額：326千円 | ○概要 市内小学校3～6年生、中学校1～3年、指定する学年ごと1作品を選出。ただし、4学年は全学校から計27作品)。各種人権学習会などの概要版などとともに作文集を作成し、関係者へ配布。 5/18 市校長会 6月より随時学校へ説明 11月～12月 作品募集 | 3/上旬 発行 安曇野市人権尊重作文集 「kiseki」仮称(「軌跡」「奇跡」から) |

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み |
|-----------------------------|--|----------|
| 安曇野市企業人権教育推進協議会 予算額：52千円 | 市内31企業加入 6/24 総会・研修会 会長 花村薫さん（株式会社ちくま精機代表取締役） 研修会「アンガーマネジメント」 講師 丸の内ビジネス専門学校校長 内川小百合さん 10/25 企業人権啓発講演会 講師：比田井 和孝さん （上田情報ビジネス専門学校 副校長） 演題：幸せな人生を歩むためにとても大切なこと ～与える者は、与えられる 参加者100人 | 2/14 理事会 |

中央公民館事業費

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み |
|--------------------------|---|-----------------------------------|
| 公民館長会 | ○第1回 4/11 平成28年度役員選出 会 長：中田穂高公民館長 副会長：内川豊科公民館長、蓮井中央公民館長 ○第2回 5/9 公民館大会、運営方針 ○第3回 6/6 公民館大会反省、総合芸術展実行委員の選任 ○第4回 7/4 今後の予定 ○第5回 8/3 今後の予定、臨地講座 ○第6回 9/5 今後の予定、各公民館からの協議 ○第7回 10/3 各公民館からの協議 ○第8回 11/7 平成29年度事業、長野県館長総会 | 毎月1回開催 |
| 長野県公民館運営協議会 予算額：347千円 | ○第57回 関東甲信越静公民館研究大会 in さがみはら 8/25～26 参加者5人 ○第64回 長野県公民館大会（飯田・下伊那） 9/15～16 参加者5人 | |
| 安曇野市総合芸術展 予算額：355千円 | 7/4 第1回実行委員会 実行委員長 高野 博さん 副実行委員長 隼田和子さん 開催要項、スケジュール 10/3 第2回実行委員会 作品選考スケジュール、選考方法 10/15 三郷文化祭作品選考 10/29 穂高、堀金文化祭作品選考 11/ 6 豊科、明科作品選考 11/15 第3回実行委員会 昨年度の反省点からの改善、選考作品確認 | 2/ 6 第4回実行委員会 3/ 3～22 第6回総合芸術展 |

| 事業（懸案事項） | 現況 | 今後の取り組み |
|-------------------------|--|--|
| 安曇野市公民館報 予算額：1,532千円 | 5/10 校正会議 5/18 企画会議 6/ 2 第30号発行 6/14 校正会議 6/22 企画会議 7/ 6 第31号発行 7/23 長野県公民館報関係者研修会 会場：穂高公民館 講演 演題 読んでもらえる紙面づくり 講師花岡 明生 氏 （株式会社市民タイムス 元編集局長） 4分科会 約100人参加 8/10 校正会議 8/24 企画会議 9/ 7 第32号発行 10/12 校正会議 10/20 企画会議 11/ 2 第33号発行 11/10 校正会議 11/18 企画会議 | 12/ 7 第34号発行 1/25 校正会議 2/ 2 企画会議 2/15 第35号発行 （年6回発行） |

平成 28 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

青少年健全育成費事業

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>子ども会育成会支援 予算額：9,592千円</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○4月6日～15日 5地域子ども会育成会連絡協議会 ○4月19日 子ども会育成会連合会総会 ○5月8日 均等割補助金申請、子ども安全共済会申込み締切→98地区申請 ○5月11日 長野県子ども会育成会連絡協議会第1回理事会 ○5月19日 第2回常任委員会 ○5月27日 活性化補助金申請締切→42地区申請 ○5月28日 長野県子ども会育成会連絡協議会通常総会 ○6月11日 ジュニアリーダー養成講座常任委員5名参加協力 ○6月17日 松本地方子ども会育成連絡会 会議 ○9月11日 第2回長野県子ども会指導者講習会 松本地方子ども会育成連絡会安全講習会 ○10月5日 育成会だより19号発行（広報） ○10月18日 第3回常任委員会 ○11月12日 ジュニアリーダー養成講座常任委員3名参加協力 | <p>3月 常任委員会</p> <p>2月中旬 こども会育成会地域連絡協議会</p> |
| <p>青少年センター 予算額：1,021千円</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○4月28日 第1回運営委員会 ○5月13日 長野県青少年補導センター連絡協議会 ○5月19日 安曇野市小中高等学校生徒指導連絡協議会第1回総委員会 ○5月31日 第2回運営委員会 ○6月1日 センターだより第5回号（広報）発行 ○6月11日 ジュニアリーダー養成講座運営委員2名参加協力 ○6月17日 長野県青少年補導センター連絡協議会 ○4月～6月 相談受付 ・不登校案件1名（相談回数5回） ○7月15日 第41回長野県青少年補導活動推進大会（飯田市）5名参加 ○8月8日 夏休み街頭巡回（豊科・穂高・堀金） ○8月9日 夏休み街頭巡回（三郷・明科） ○8月18日 第3回運営委員会 ○10月5日 センターだより第6回号（広報）発行 ○10月11日 CHUKOらんどチノチノ視察（茅野市） 運営委員11名、職員3名参加 ○10月11日 中信4市補導センター連絡会議（松本市） 会長・センター長他3名参加 ○11月6日 青少年センター講演会（市役所） 参加者11名 ○11月12日 長野県青少年健全育成県民大会（飯山市） 会長・副会長・職員3名参加 | <p>3月 運営委員会</p> <p>12月、3月 街頭巡回</p> |
| <p>ジュニア・リーダー養成事業 予算額：71千円</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○4月6日 社会教育指導員会にて募集について説明 ○4月19日 募集チラシ配布 ○5月27日 申込み締切 ○6月11日 ジュニアリーダー養成講座36名参加（内児童28名、協力者8名） ○11月2日 ジュニアリーダー養成講座打合せ3人 ○11月12日 ジュニアリーダー養成講座（三九郎組立講座）27名 | |

| | | |
|----------------------------------|---|---|
| <p>まごころ工房 予算額：157 千円</p> | <p>○4月 募集チラシ配布 ○5月20日 申込み締切 応募者：31名 ○5月29日 第1講座【ようこそ！ワウパーク】開催 受講人数 30名 ○6月18日 第2講座【紙飛行機&ブーメラン】開催 受講人数 26名 ○10月29日 第3講座【落語に挑戦】 受講人数 10名 ○11月19日 第4講座【デイサービス交流会】</p> | <p>年6回講座開催 12月3日 和風作り 3月4日 調理実習</p> |
| <p>こども体験ショー 予算額：540 千円</p> | <p>○5～6月 イベント内容検討 ○7月7日 米村でんじろうサイエンスプロダクションに部内業選にて委託決定 ○8月12日 契約締結 (540,000 円) ○9月 出演者との打合せ ○10月9日 「ジャイアン村上おもしろサイエンスショー」 堀金総合体育館サブアリーナ環境フェアと同時開催参加者 450名</p> | |
| <p>こども文化祭 予算額：344 千円</p> | <p>○5月 企画・運営方法検討開始 ○6月21日 役員会議 ○5月～8月 企画・運営方法検討 ○10月3日～28日 出演・出品者の募集 ○11月10日 出展者会議 参加者 15名 ステージ発表 12 団体、作品展示 5 団体、体験交流 2 団体 ○11月26日 文化祭の開催</p> | |
| <p>安曇野こども映画教室 予算額：965 千円</p> | <p>○4月 小・中 17 学校、市内 4 高校 募集チラシ配布 ○4月25日～5月19日 参加者・ボランティア募集 応募者：20名(定員) ボランティア：3名 ○4月30日 河崎監督・麻和先生・事務局打合せ ○5月28日 第1回 オープンスクール開催 受講者数 16名 ○6月25日 第2回 シナリオ決定、機材取扱い指導 受講者数 17名 ○7月23日 第3回 配役決定・撮影開始(撮影①) 受講者数 17名 ○8月27日 第4回 教室開催(撮影②) 受講者数 16名 ○9月10日 第5回 教室開催(撮影③) 受講者数 17名 ○10月22日 第6回 教室開催(撮影④) 受講者数 17名 ○11月12日 第7回 教室開催(編集) 受講者数 16名 ○11月26日 完成披露上映会(穂高みらい)</p> | <p>5月28日 毎月第4土曜日教室開催 ～11月26日</p> |

放課後・家庭教育推進費

| 事業(懸案事項) | 現況 | 今後の取り組み |
|-------------------------------|---|--|
| 放課後子ども総合プラン運営委員会 予算額：272千円 | | 1月中旬 第1回運営委員会の開催 3月中旬 第2回運営委員会の開催 |
| 放課後子ども教室 予算額：8,303千円 | <ul style="list-style-type: none"> ○4月12日～14日 小学校との打合せ会議 ○4月27日 放課後子ども教室コーディネーター研修会 参加者：16人 ○4月27日 放課後子ども教室スタッフ研修会 参加者：108人 ○5月18日 豊科北小、豊科東小、明北小、穂高北小 4校において保護者説明会 ○5月19日 明南小において保護者説明会 ○5月25日 豊科南小、穂高南小、穂高西小、三郷小、 堀金小5校において保護者説明会 教育長 堀金小保護者説明会出席予定 ○7月7日 放課後子ども教室スタッフ救命講習会 参加者：18人 ○7月8日 放課後子ども教室スタッフ救命講習会 参加者：15人 ○7月8日 放課後子ども教室スタッフ研修会 (松本合庁) 参加者：13人 ○7月13日 豊科南小、豊科北小において連絡会議 ○7月20日 豊科東小において連絡会議 | 5月18日 放課後子ども教室の実施 ～3月 2月中旬 地域連絡会議の開催 |
| 家庭教育支援事業 予算額：1,900千円 | <ul style="list-style-type: none"> ○4月26日 情報誌ポケット5月号の発行 ○5月26日 情報誌ポケット6月号の発行 ○6月23日 情報誌ポケット7月号の発行 ○7月28日 情報誌ポケット8月号の発行 ○8月25日 情報誌ポケット9月号の発行 ○9月27日 情報誌ポケット10月号の発行 ○10月14日 第1回家庭教育講座 講師：碓井幸子 参加者20名 ○10月25日 情報誌ポケット11月号の発行 ○11月24日 情報誌ポケット12月号の発行 ○11月27日 第2回家庭教育講座 講師：加藤史子 | 5月～3月 情報誌ポケットの発行 |

児童館運営費

| 事業(懸案事項) | 現況 | 今後の取り組み |
|-------------------------------|---|---|
| 児童館・放課後児童クラブ 予算額：173,966千円 | <ul style="list-style-type: none"> ○児童クラブ入所随時受付け ○5月 堀金児童館網戸設置工事(582,117円) ○5月 豊科中央児童館樋、軒天修繕(275,400円) ○6月 南穂高児童館、遊具修繕(74,973円) ○7月 穂高北部児童館 畳張替え工事(176,256円) ○10月26日 児童クラブ入所説明会(堀金) ○10月27日 児童クラブ入所説明会(明科) ○10月28日 児童クラブ入所説明会(三郷) ○11月2日 児童クラブ入所説明会(穂高) ○11月7日 児童クラブ入所説明会(豊科) ○11月14～25日 H29年度申請受付 | 12・1月 入所審査・調整 2月 入所決定通知書発送 3月 入所説明会 |

平成 28 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課スポーツ推進担当

社会体育総務費事業

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み |
|---|---|---|
| スポーツ推進委員会 予算額：2,412千円 | 10月28日 第2回市スポーツ推進委員会全体会議 11月12日 県スポーツ推進委員研修会（駒ヶ根市） 11月17・18日 全国スポーツ推進委員研究協議会（福井県）＜市の委員2人が表彰される予定＞ | 3月 第3回全体会議の開催 |
| スポーツ推進審議会 予算額：182千円 | | （開催未定） |
| 各種競技会及び発表会出場者 激励金交付事業 予算額：1,200千円 | 10月末現在 申請件数：46件 交付額：600千円 | 申請に基づき随時対応 |
| 市民スポーツ祭 予算額：1,500千円 | 11月20日 ワンバウンドふらば～る大会 11月27日 剣道 11月27日 女子バレー | 12月4日 柔道 <変更後> 12月4日 フットサル ※12月4日で全競技が終了予定 |
| リオ2016オリンピック・パラ リンピック関連事業 | 8月6日 パラリンピック出場選手の壮行会 9月14日 パラリンピック出場選手パブリックビュー イング 10月15日 パラリンピック出場選手の報告会 | |
| 安曇野市体育施設使用料の見 直しについて | | 11月 第1回スポーツ推進審議会に 諮問予定 |
| 公式スポーツ施設整備計画推 進 | 10月24日 公式スポーツ施設整備推進プロジェクトチ ーム会議開催 11月9日 教育委員会臨時会及び政策会議で新総合体 育館整備基本計画（案）を説明 11月15日 福祉教育委員会協議会で新総合体育館整備 基本計画（案）を説明 11月17日 市議会全員協議会で新総合体育館整備基本 計画（案）を説明 | 11月20日～23日 新総合体育館整備基本計画 （案）市民説明会開催（5回） 11月21日～12月20日 新総合体育館整備基本計 画（案）についてパブリック コメント実施 |

スポーツ振興事業

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み |
|------------------------|---|-------------|
| スポーツ教室等 予算額：8,352千円 | ○5、6、7月から開始したスポーツ教室（14種）の継続 開催 ○後期から開始したスポーツ教室の開催 | 後期の教室の募集、開催 |

社会体育施設管理費

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み |
|-------------------------|--|---|
| 三郷体育館耐震補強工事設計 業務 | 9月15日 耐震補強工事設計業務打合せ（三郷中） | 2月下旬 耐震補強工事設計業務完了 予定 |
| 明科体育館非構造部材耐震化 工事設計業務 | 8月12日 耐震補強工事設計業務打合せ | 2月中旬 耐震化工事設計業務完了予 定 |
| 公共施設予約システム | 10月1日 新予約システムへ切替 新予約システムを市ホームページへ掲載 11月13日～ 12月・1月の先行予約入力（地域課） | 11月下旬 旧予約システム撤収予定 11月25日～29日 12月・1月のインターネット 予約期間 11月30日 抽選日 |

平成 28 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

〈文化課〉

文化振興係

文化振興事業

| 事業 (懸案事項) | 現 況 | 今後の取り組み 備 考 |
|--------------------------------|---|---|
| 文化振興計画進捗管理 | ・進捗管理 第 2 次文化振興計画策定について 政策会議・部長会議・教育委員会臨時会付議 | ・現計画の計画期間は H29 年度まで。H28 年度に策定委員会組織の準備 |
| 信州安曇野薪能 主催：実行委員会 | ・第 4 回実行委員会 11 月 22 日（火）決算・反省 | |
| 東京藝術大学連携事業 | ・第 2 回楽器演奏指導事業（会場：穂高東中学校） 指導：東京藝大音楽学部 小畑善昭教授、器楽科学生 11 月 5 日（土） 対象：穂高東中学校吹奏楽部 11 月 6 日（日） 対象：リーダーズバンド 参加者 中学生 89 名 藝大生 16 名 教員 8 名 | 第 3 回楽器演奏指導 平成 29 年 2 月 4 日・5 日 |
| 安曇野市美術館博物館連携事業 | ・安曇野市ミュージアムギャラリートークリレー 会期 10 月 22 日（土）～11 月 6 日（日） 実施施設 13 館 参加者数 1,179 名 | ・各館との合意形成、広報 ・学校ミュージアム（1 月） 出前ミュージアム（1 月） |
| 博物館協議会 | ・第 2 回安曇野市博物館協議会 期日：10 月 28 日（金） | ・上半期事業の総括と新年度の方針について |
| 第 14 回あづみの公園早春賦音楽祭 主催 実行委員会 | 第 1 回事務局会議 29 年度の音楽祭について 期日：11 月 11 日（金） | 第 2 回事務局会議 期日：11 月 24 日（木） |

高橋節郎記念美術館事業

| 事業 (懸案事項) | 現 況 | 今後の取り組み 備 考 |
|----------------------|---|---|
| 企画展「高橋節郎の軌跡～飽くなき探求～」 | ○展覧会概要 ・会期 9 月 6 日（火）～11 月 13 日（日） ・内容 上記企画展に引き続き、豊田市美術館高橋節郎館の収蔵作品を借用し、晩年の立体作品を中心に展示。 | |
| 第 5 回そば猪口アート公募展 | ○展覧会 10 月 4 日（火）～11 月 6 日（日） 会期中の来場者数 2,019 名 ○市商工会の「新そばと食の感謝祭」（11 月 5 日（土）・6 日（日））、安曇野スタイル連携「喫茶チロル」での「そば猪口展」（10 月 26 日（水）～11 月 14 日（月））出品、協力 | ○巡回展 愛知県瀬戸市新世紀工芸館 山形県白鷹町文化交流センター「あゆむ」 |
| 安曇野スタイル | ○安曇野スタイル（11 月 3 日（木）～6 日（日））期間中に、沈金体験講座を実施 参加者数 22 名 | |

文化財保護係

文化財保護事業

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み |
|--|---|--------------------------|
| 文化財事業補助金 事務手続き | 有形文化財の修理、これから催行される無形民俗文化財の 保存伝承関係の申請及び、既に終了した無形民俗文化財の 実績報告等の事務手続き | 随時事務処理を行う。 |
| 出前講座 あづみのフィルムア ーカイブ 映画「よ みがえる安曇野」 | 11/5 下堀地区敬老会：10:30～11:30 | 出前講座の申請があれば、 随時対応したい。 |
| 文化財保護協会研 修会 | 11/10 文化財保護研修会 古墳とその時代、田沢獅子 舞保存会の発表他 文化財保護審議会委員 調査委員会 委員 於：伊那市創造館 | |
| 長野県史料保存活用 連絡協議会講習会 | 11/11「災害と資料保全」 於：長野県立歴史館 | |
| 文化財保護へ向け た啓発活動 | 広報への文化財コラムの掲載 | |
| 映像史料保存活用 事業 | 11/20 8mmフィルム上映会 ホームムービーの日 in 安 曇野 午前の部 午後の部 於：豊科郷土博物館 | |
| 文化財パトロール | 11/25 国・県指定文化財を中心に実施 | |

歴史文書整理事業

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み |
|----------------------|-------------------|---------|
| 歴史的価値ある公 文書の選別作業 | 歴史的価値ある公文書の選別作業 | 継続 |
| 古文書整理作業 | 飯沼家文書の調査 | 引き続き調査 |
| 保存文書等借用・閲 覧に関する事務 | 非現用文書の借用・閲覧に対する事務 | 継続 |

埋蔵文化財発掘調査事業

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み 備 考 |
|----------------------------------|----------------------------|----------------|
| 穂高神社境内遺 跡・明科廃寺・新林 遺跡他の遺物整理 | 土器の洗浄作業・注記作業・復元作業 報告書作成 | 継続実施 |
| 埋蔵文化財包蔵地 内等での開発に対 しての工事立会 | 一般開発・公共事業に伴う工事立会 | 開発業者との連絡調整 |

| | | |
|-------------------------|---------------------------------------|------|
| 文化財保護法 93・94 条関係の事務 | 周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発が行われる際の届出・通知受付事務 | 随時対応 |
| 藤塚遺跡試掘調査 | 11/2 穂高幼稚園施設整備に伴う試掘調査 | |
| 埋蔵文化財包蔵地内で実施予定の公共事業保護協議 | 平成 29 年度以降実施予定の公共事業について関係部署との保護協議を実施。 | 随時実施 |

文化課博物館係

郷土博物館事業

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み |
|--|--|--|
| 展覧会 出前展示（コンパクト展示）興味津々安曇野 FOOD 展示（2015 企画展リメイク） | ○開催概要 ・内容：平成 27 年度郷土博物館企画展示のコンパクト展示、松本藩貞姫御膳から現代の庶民の普段の食事までを紹介する。 ・会期：11 月 8 日（火）～12 月 9 日（金） | 堀金支所 1 階ロビー |
| 展覧会 出前展示（コンパクト展示）清澤冽と『戦争日記』 | ○開催概要 ・内容：清澤冽の生涯やその著作について紹介し、晩年に執筆した『戦争日記（暗黒日記）』を展示する。 ・会期：11 月 1 日（火）～11 月 30 日（水） | 穂高支所 1 階ロビー |
| 展覧会 多文化社会の中に生きる私たち—西欧化の行事を取り入れる日本～商業ベースを取り込む家族行事— 出前展示（コンパクト展示） | ○開催概要 ・内容：行事や儀礼など、長い年月の間に変わりゆくものの中で、今回は、商業ベースに乗って創出され、定着しつつある行事をいくつか取り上げる。クリスマス、ハロウィン、バレンタインデー、ホワイトデー、節分の恵方巻きなどを取り上げることとする。 ・会期：11 月 4 日（金）～12 月 22 日（木） | 市本庁舎 1 階ロビー中央 |
| 展覧会 出前展示（コンパクト展示）触って推理！『長野県地学標本』と安曇野 | ○開催概要 ・内容：明治時代教育者・保科百助（五無斎）が長野県下各地の岩石を集めた標本の展示や地元安曇野の岩石の実物を紹介する。 ・会期：11 月 9 日（水）～11 月 22 日（火） 中学校施設展示（岩石標本展示） | 明科中学校 2 階理科室前廊下 |
| 展覧会 出前展示（コンパクト展示）小学校施設でのコンパクト展示 | ○開催概要 ・内容：小学校については、昆虫展（安曇野の昆虫の特徴を書いたパネルや標本の展示） | ○豊科東小学校 10/28 から 11/11 まで ○明北小学校 11/14 から 11/25 まで ○（予）三郷小学校 11 月末から |

| | | |
|--|--|---------------------------|
| <p>展覧会</p> <p>正月様どこまでござった？ 正月ちゅうもんは良いもんだ!!!</p> <p>出前展示(コンパクト展示)</p> | <p>○開催概要</p> <p>・内容：かつての正月と現在の正月はどうか変わったのか。かつてと現在の正月の迎え方と過ごし方を比較し、メディアに支配されない頃の正月に目を向けてみたい。</p> <p>・会期：12月22日(木)～2017年1月末日</p> | <p>市本庁舎1階ロビー中央</p> |
| <p>展覧会</p> <p>安曇野のレッドデータブック展Ⅱ～植物編～</p> | <p>○開催概要</p> <p>・内容：安曇野市の変化にとんだ自然環境の中で、近年数を減らし絶滅の危機にある動植物についてまとめられたレッドデータブックから、今回は植物編として紹介する展示。</p> <p>・会期：平成29年3月4日(土)～4月9日(日)</p> <p>・会場：豊科郷土博物館 2階展示室</p> | <p>標本資料の整理、展示資料制作、借用等</p> |
| <p>講座</p> <p>講演会</p> <p>「明科廃寺周辺の姿は？上川路廃寺と伊那郡衙の実態から」</p> | <p>○開催要項</p> <p>開催日：平成29年1月14日(土)</p> <p>会場：豊科交流学習センターきぼう 多目的交流ホール</p> <p>内容：同時期に作られた郡衙や上川路廃寺などの調査成果を聞く。</p> <p>講師：市澤英利氏(飯田市上郷考古博物館)</p> | <p>参加者募集</p> |
| <p>講座</p> <p>「押絵の干支を作ってみよう」</p> | <p>○開催要項</p> <p>開催日：11月23日(水) 会場：豊科郷土博物館2階学習室</p> <p>内容：来年の干支を押絵で作る。</p> <p>講師：三村隆彦氏(松本ペラミ人形店)</p> | |
| <p>講座</p> <p>「民具ワークショップ 俵を作ろう」</p> | <p>○開催要項</p> <p>俵作り 開催日：12月10日(土) 午前9時～午後5時</p> <p>会場：豊科郷土博物館2階学習室</p> <p>○内容：博物館に展示するための俵作りを通して、その技術を学ぶ。</p> | <p>参加者募集</p> |
| <p>講座</p> <p>レッドデータブック 展関連講座</p> <p>「植物画入門」</p> | <p>○開催要項</p> <p>開催日：平成29年3月(未定) 会場：豊科郷土博物館 2階学習室 内容：植物の観察をして植物画を描く 講師：未定</p> | |

郷土資料館事業

| 事業(懸案事項) | 現 況 | 今後の取り組み 備 考 |
|------------------------|---|----------------|
| <p>穂高鐘の鳴る丘集会所の施設使用</p> | <p>○内容</p> <p>・郷土の歴史や文化に係る学習や青少年の健全育成に関する事業を行う市民等の利用に供する。</p> | |

| | | |
|-----------------------------|---|-----------------------------|
| <p>昔の暮らし体験教室 (出前授業)</p> | <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3学年の昔の暮らし学習に合わせて、郷土博物館・資料館資料を100点ほど体験用として展示する。合わせて、太平洋戦争の体験や昔の子供の暮らしについて話をし、資料は体験子供たちが体験できるようにする出前講座。 ・開催時期：平成29年1月～2月 ・会場：各小学校（希望校のみ） | <p>各小学校へ希望を募り、開催日を決定する。</p> |
|-----------------------------|---|-----------------------------|

貞享義民記念館

| 事業（懸案事項） | 現 況 | 今後の取り組み 備 考 |
|---|--|--|
| <p>企画展示</p> <p>1 第6回フォトサロンなかがや写真展</p> <p>2 第6回三郷陶芸クラブ『絆』作品展</p> | <p>○開催概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：11月3日（木）～11月27日（日） ・サロンの会員9人がなにげない風景と花を撮った約70点の写真を展示 ・入館者数 129人（11月13日現在） ・開催期間：11月29日（火）～12月11日（日） ・会員が作成した、日常使いの食器や雑貨を中心に約60点展示 | <ul style="list-style-type: none"> ・開催中 ・広報239号に掲載 ・11月29日展示作業 |
| <p>朗読会</p> <p>1 おしゅん2016</p> | <p>○開催概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：大坪かず子作『おしゅん』の朗読会 ・日程：平成28年11月23日（水）午前11時～、午後2時～ ・場所：シアター「夢道場」 出演：森のおうちお話の会 ・定員：各回50人（先着） | <ul style="list-style-type: none"> ・11月14日、21日練習 ・10月12日より申込受付 ・入場券発送 |

平成 28 年度第 2 回安曇野市博物館協議会 会議概要

- 1 会議名 平成 28 年度第 2 回安曇野市博物館協議会
- 2 日時 平成 28 年 10 月 28 日 午前 10 時分 00 から午前 11 時 30 分まで
- 3 会場 安曇野市役所本庁舎 3 階 共用会議室 306
- 4 出席者 笹本会長、滝沢委員、浅川委員、金井委員、高原委員、細野委員、宮澤委員
山田教育部長、那須野文化課長、百瀬館長（豊科郷土博物館）、荒深館長（豊
科近代美術館・飯沼飛行士記念館）、斉藤館長（田淵行男記念館）、大月館長
（穂高陶芸会館）、宮下館長（高橋節郎記念美術館）、清水館長（貞享義民記
念館）、
- 5 担当課出席者 三澤文化振興係長、西山博物館係長、逸見博物館係主査、松田博物館係
員、丸山文化振興係主事、百瀬文化振興係員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 1 人 記者 1 人
- 8 会議概要作成年月日 平成 28 年 11 月 15 日

協 議 事 項 等

○会議の概要

- 1 開 会 （那須野文化課長）
- 2 あいさつ （山田教育部長）
- 3 報告・協議
（1）平成 28 年度各館事業進捗状況及び平成 29 年度事業構想について
（2）その他
- 4 その他
- 5 閉 会 （那須野文化課長）

○協議概要

（1）平成 28 年度各館事業進捗状況及び平成 29 年度事業構想について

●資料内容説明（各博物館・美術館長）

●委員からの意見

会長 ・ それでは、委員の皆さんからは今後の事業展開のなかで提言となるようなご
意見をお寄せいただきたい。

委員 ・ 来館者数の数字の大きさだけを求めるのはよくない。

・ 中心となる学芸員の調査研究のための時間は確保されているのか。

郷土博 ・ 講座や企画展に付随する調査研究等は、毎日誰かが行っている。非常に厳し
い勤務時間のなかで苦勞してやっているのが実情である。

・ 単年度契約の学芸員に、3 年後 5 年後を見越してというのは限界がある。

近美 ・ 学芸員の経験により差がある。経験のある学芸員は常設展にかかわる調査研
究はかなりできているが、経験の少ない学芸員は、次年度の企画展に向けての
調査、資料収集や他の業務に追われ、調査研究にだけ集中はできない。

田淵館 ・ 田淵行男記念館も同じような状況である。学芸員は調査研究以外にも館の仕

事がたくさんある。

- 飯沼館
節郎館
会長
- ・ 飯沼飛行士記念館には常駐の学芸員はいない。
 - ・ 膨大な資料を整理している最中で、日常の学芸員活動の時間はあまりない。
 - ・ 展示は仕事のほんの一部であって、お客さんへの対応などに時間を割かなければいけない。ほとんどは家に帰ってから講演や展示の準備をしている。
 - ・ 企画展示にある程度時間をかけるためには、当委員会でも「質的な部分で評価するから回数を減らしてもよい」というような提言をすることが必要である。
 - ・ コンパクト展示のように新しいものを作るにはさらに時間が必要である。
 - ・ 仕事が減ることはなく、新たに付け加えられるのが現状なので、「学芸員の研究時間は保証されているのか」という視点から、今後の企画展示等に関するご意見いただきたい。
- 委員
- ・ 次から次へ企画だけを考えると、学芸員自身のイメージがなくなってしまう。会長の意見には賛成である。
- 会長
- ・ 本来博物館は10年先、20年先にどうあるべきか論議されなければならない。5年後、10年後のあり方を各館が示し、少し先まで計画を立てて欲しい。
 - ・ 学芸員については、1年ごとの契約ではよくないことを委員全体が認識して、当委員会として申し出をしていかなければならない。
- 委員
- ・ 学芸員をどれだけ育てていけるかが重要。学芸員に対する適切な配慮や手当が、このような場で訴えられなくてはならない。
 - ・ 学芸員の研究発表の場として研究紀要はどのくらい実現しているのか。各施設が一体となった博物館群として研究紀要を毎年出すのもいいのではないか。
- 郷土博
- ・ 5年前から研究紀要を刊行している。質的にはまだまだだが、学芸員はもちろん、外部関係者や事務職員も原稿を書いている。限られた時間のなかでいい原稿を書くのは難しい。長期的な見通しを持った組織の体制を希望する。
- 会長
- ・ 学芸員が地域の文化を主導できないと、地域全体の文化が向上しない。博物館がつくれないなら、学芸員だけでも育てようという形で市へ要望している。
 - ・ 紀要を作れない館はどうするかという問題もある。安曇野市として、紀要が出せない館も含めて作っていく方向を今後考えていく必要がある。
 - ・ 市には人材の確保と紀要のあり方を検討してもらえたらと思います。
- 委員
- ・ 茅野市では「市民学芸員」というボランティアの取り組みがある。ボランティアをつくり、学芸員の研究の手助けや補佐をしてもらうのはどうか。
- 郷土博
- ・ まだ不十分なところがあるが、ワークショップとして民具の保存・修復・制作の技術伝承を市民が担う活動をしているし、戦時生活部では大戦時の資料収集を市民に担ってもらっている。ようやくそういったことに手がついた。
- 委員
- ・ 学芸員は専門性を持っているが、得意でない部分を補えるよう有識者を市民学芸員として登録し、サポートする体制があれば良いと思う。

会長 ・ 一方で、ボランティアは育成に手間がかかるという問題があり、ボランティアを統括できる人材が必要になる。

・ ボランティアではなく「サポーター」として、学芸員と一緒にやっていくという方向性をしっかり決めたほうがよい。場合によっては、ボランティアのなかでリーダー的存在ができ、学芸員よりも館に影響を持つ人が出てくる。きちんとサポーターを動かせる組織・人材がないと、かえって問題になる。

委員 ・ サポーターについては良いと思う。

・ 市内の施設や近隣の市町村と連携がとればよい。

会長 ・ 今は横の連携をしていく時代である。

・ 博物館で大事なものは資料がいかにか蔵され、次の時代に伝えられるかである。展示はごく一部の機能だということを、市民に理解してもらう必要がある。

委員 ・ 先日の郷土博と県立歴史館が共催した講演会について、質疑応答の時間をとってよかったのではないか。

会長 ・ 室後応答をすると、自分の意見を語るだけの人がいるので、私の場合は質問を受け付けることはあまりしない。そういうこともご理解いただきたい。

郷土博 ・ 講演の後に、展示を見てもらいながらギャラリートークを行った。多くの方から質問をいただいた。案内が不十分で申し訳なかった。

委員 ・ 最初の頃より各館のPRが上手になった。各館に色々な資料があることを来館して初めて知る市民もいる。そういうところをPRしていけばいいと思う。

・ いくつかの館で出前展示や出前講座をやっているが、次の年にも引き継いで欲しい。少しずつ内容を変えていけば、次の新しい展示に繋がるのではないか。

会長 ・ 全体的に目的と対象がはっきりしていないように思う。子どもたちが大事だと各館で言っているが、予定事業のうちどれが子ども対象で何をするのかが明確でない。逆に高齢者に対してはどういった展示があるのかも分からない。それぞれの年齢層ごとの展示手法を考えなければならない。

・ 10年後、20年後のあり方を考えておいていただきたい。まずは5年先、10年先にどうあるべきか、その中で来年度はどういう位置付けなのかというのを今後の構想に入れていただければ、議論しやすくなる。

(2) その他

●新市立博物館構想、学芸員研修について（事務局）

●次回会議予定について

事務局 ・ 次回の会議は平成29年3月下旬を予定している。29年度事業計画について具体的なご意見をいただきたい。本日はありがとうございました。

以上

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

交流学習センター(施設)事業

| 事業(懸案事項) | 現 況 | 今後の取り組み |
|--|--|--|
| <p>穂高交流学習センター・豊科交流学習センター・明科子どもと大人の交流学習施設事業</p> | <p>○市民マイコレクション展 Part. 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期:11月8日(火)~2月初旬 ・場所:穂高交流学習センター展示ギャラリー ・観覧無料 <p>○優秀映画鑑賞推進事業(4作品)及び上映映画解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日:11月12日(土)午前10時~、午後1時30分~ 11月13日(日)午前10時~、午後1時30分~ ・場所:豊科交流学習センター多目的交流ホール | <p>○高嶋青海・竹内遙香・山極遙香 フルート&グランドハーブ&ピアノコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日:12月17日(土)午後6時~ ・場所:穂高交流学習センター多目的交流ホール ・入場料:500円 <p>○信州大学人文学部受託研究事業 音をかたちに、かたちを音に ちくちくワークショップとクリスマスコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日:12月18日(日)午後1時~ ・場所:穂高交流学習センター多目的交流ホール ・入場料:100円 |
| <p>交流学習センター運営委員会</p> | <p>○交流学習センター運営委員会(第4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日:11月8日(火)午後1時30分~午後4時 ・場所:堀金公民館 会議室1 ・内容:「平成29年度事業計画(案)について」、「図書館及び交流学習センターの管理運営の方向性について」、「その他」 <p>※図書館協議会との合同開催</p> <p>【報告書の提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日:11月25日(月)午前9時~ ・場所:本庁教育長室 ・内容:「報告書~安曇野市交流学習センター(施設)及び安曇野市図書館における管理運営の方向性について」の提出 <p>※図書館協議会との合同</p> | |

図書館事業


| 事業(懸案事項) | 現 況 | 今後の取り組み |
|----------|--|---|
| 図書館事業 | <p>○ 図書館協議会(第4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日:11月8日(火) 午後1時30分~午後4時 ・場所:堀金公民館 会議室1 ・内容:「平成29年度事業計画(案)について」、「図書館及び交流学習センターの管理運営の方向性について」、「その他」 <p>※交流学習センター運営委員会との合同開催</p> <p>【報告書の提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日:11月25日(月) 午前9時~ ・場所:本庁教育長室 ・内容:「報告書~安曇野市交流学習センター(施設)及び安曇野市図書館における管理運営の方向性について」の提出 <p>※交流学習センター運営委員会との合同</p> | <p>○ 図書館協議会(第5回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日:12月2日(金) ・場所:豊科交流学習センター「きぼう」会議室 ・内容:「第2次図書館基本計画の策定について」、「市民アンケート等について」、「その他」 |

平成 28 年 11 月 25 日開催

安曇野市教育委員会 11 月定例会当日配布資料

【教育委員会定例会提出資料】

| | |
|---------------------|----------------------|
| 報告第 7 号 | 教育部 学校教育課 |
| 平成 28 年 11 月 25 日提出 | (課長)古幡 彰 (担当係長)平林 洋一 |

| | |
|-------------|--|
| タイトル | 市内小中学校におけるスケアード・ストレートによる交通安全教室のアンケート結果等について |
| 報告を要する事項の内容 | スケアード・ストレートの交通安全教室に係るアンケート結果等について報告するもの |
| 要旨 | <p>「スケアード・ストレート」とは、恐怖を実感することでそれにつながる危険行為を未然に防ぎ、交通ルールを遵守することの大切さを体感させる教育方法である。</p> <p>現在、市民生活部地域づくり課（生活安全係）の企画により、市内小中学校でスケアード・ストレートの交通安全教室が実施されている。</p> <p>その効果等を検証するとともに、実際に交通事故に遭った児童生徒や恐怖心の強い児童等への配慮の状況について調査するため、アンケート調査を行ったものである。</p> |
| 説明 | <div style="text-align: center;"></div> <p>1 内容について</p> <p>場面設定については各校違いがあるが、歩行者や自転車乗車者が遭遇する可能性が高い危険について実演や DVD 視聴とそれについての解説を含めた講話を実施している。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><ul style="list-style-type: none">・グラウンドで歩行者、自転車が注意を怠ったときに予測される危険や事故について、自動車、自転車、ベビーカーを用いて実演（豊科東小）・グリーンベルトを歩いているトラックの死角により事故に遭う可能性があることを体験（明南小）・歩行者と車、自転車と車、自転車と歩行者との接触事故の様子を実際の実演を通じて、参観した。（堀金中）</div> |

2 参加への配慮

各校とも事前に学習内容について打ち合わせをし、必要な配慮を検討後実施している。また、実施後の振り返りも行っている。

- ・事前に交通事故に遭った経験のある児童や恐怖心の強い児童がいないかを各担任に確認してもらった。(堀金小)
- ・事故再現場面を見たくないときは見なくてもよいことを事前指導した。(豊科北中)

3 効果の有無について

交通弱者として守られるという視点と、ともに交通を形成している交通参加者としての視点から、スケアード・ストレートの交通安全教室で主体的な学習が期待できる点を評価している学校が多い。

- ・子どもたちに事故の怖さ、自分の命は自分で守らないといけないという意識を高めることができたと思う。(豊科南小)
- ・実際の事故の様子をスタントマンに協力してもらいながら再現することで、どんなことに注意すればよいか伝わり、日々の安全な登下校に大きな効果をもたらす。半面、怖がらせることやスタント、慣れについての意見もある。(穂高西中)
- ・実際に事故に遭った子や不安の強い子には不安を助長させてしまったり、フラッシュバック等の心配があったりするので十分配慮しないといけないと思う。(豊科南小)
- ・恐怖心から気をつけようと思う子もいれば、逆に興味を持ってしまう子もいる。また、毎年行くと、緊張感が薄れ、講習の効果がなくなってしまう可能性が高い。(穂高北小)
- ・小中学校の9年間の中で、3年に1回の頻度で実施することで、マンネリ化せず、継続して交通安全を意識させることができると思う。(明科中)

- ・詳細や要望は別紙

4 今後の方向性

今回のアンケート調査で寄せられた意見等を参考に、より効果的で安全な交通安全教室が実施されるよう、所管部局と調整を行う。

スケアード・ストレートの交通安全教室について アンケート集約(小学校1)

| No. | 学校名 | H28実施 | 実施内容 | 配慮の有無 | 配慮の実際 | 効果の有無 | 効果 |
|-----|--------|-------|---|-------|--|-------|--|
| 1 | 豊科南小学校 | ○ | 路側帯を対向してくる自転車や横断中に通過しようとする車を再現して安全確認の大切さや歩き方を学ぶように設定(対象1~2年) | 有 | あらかじめ実施内容を児童に伝え、特に事故体験児童本人や家庭の心の状態に配慮してから実施した。 | 有 | 子どもたちには事故の怖さ、自分の命は自分で守らなければならないということができたと思う。意識を高めることができたと思う。 |
| 2 | 豊科北小学校 | × | | | | | 交通事故を模倣的に再現し、怖さを実際に感じることで、気持ちを引き締まり、危険行為をしないよう、注意を払えるのではないかと。 |
| 3 | 豊科東小学校 | ○ | グラウンドで歩行者、自転車が注意を怠ったときに予測される危険や事故について、自動車、自転車、ベビーカーを用いて実演 | 有 | 1年生から6年生まで全員で学習したので、低学年にもわかりやすい内容で実施 | 有 | 事故の状況がわかりやすく、危険を予測しやすい。 |
| 4 | 穂高南小学校 | ○ | 1・2年：停車した車の左をすり抜ける自転車と歩行者の衝突、横断歩道で止まっている歩行者に車が接近(圧迫と距離感) 3・6年：停車中の車を自転車やバイクが追い越す(ドアが急に開く)、T字路上で止まれの標識を無視した自転車やバイクが右から来た車と衝突 | 有 | ・事項の再現を見ている時、見た後に恐怖心を抱いている児童がいなかったか一人一人の様子や表情をしっかりとみる。 | 有 | ・実際に交通事故の様子を見ることができ、事故の恐ろしさを実感することになり、交通安全ルールを遵守する気持ちを高めることができた。 |
| 5 | 穂高北小学校 | × | 隔年で実施。 | 有 | 興味本位での見学になってしまわないよう、事前に指導した。 | 不明 | 飛び出しには気をつけよう、という意識を育てるのに有効だと思いが、個人の感性によって受け取りが違ってくるのが心配。 |
| 6 | 穂高西小学校 | ○ | 低学年は、安全な歩行についてDVDと講話。高学年は、自転車の安全な乗り方について、DVDと講話に加え、ヘルメットの重要性を実験で確かめた。 | 有 | 今回は、DVDの視聴などで恐怖心を持つようなことがないと思われたので、注意はしていないが、実際の事故の再現スタントのある場合は、過度な恐怖心を強く感じてしまう子が多いか、計画の段階で把握するようにはした。 | 有 | 事故は怖いということだけでなく、事故を起こしてしまえば家族や相手に迷惑のかかることを、講話で知ることが出来る。 |
| 7 | 三郷小学校 | × | | | | | |

スケアード・ストレートの交通安全教室について アンケート集約(小学校2)

| | | | | | | | |
|----|-------|---|--|-------|---|----|---|
| 8 | 堀金小学校 | ○ | <p>○1・2年生:「スケアード・ストリート」により事故の怖さを知り、どうすれば安全に登下校できるのかを理解し実際の生活に生かす。○3年生:自転車乗りを始める時期の児童が、自転車乗りの基本「乗る・安全確認・発進・停止」について、実際やるところを見たり、代表児童が体験したりして学ぶ。○4・5・6年生:下校時の歩行についての注意点を、「集団登校」「地区児童会での安全確認」についてのビデオ視聴によって確認する。</p> | 有 | <p>事前に交通事故にあった経験のある児童や恐怖心の強い児童がいないかを各担任に確認してもらった。</p> | 有 | <p>言葉だけでなく、実際に見ることでも子どもたちがイメージをしつかりもつことにつながった。</p> |
| 9 | 明南小学校 | ○ | <p>雨天のため、体青館にて実施した。グリーンベルトを歩いている時も、横並びになり、追い越すなどの状況で事故になる。また、クロネコヤマトのトラックの運転に座り、死角があることを体験した。3～6年生:自転車の安全な利用について、交差点やその他の気をつける観点を実際に事故を見せると、ヘルメットの有効性を生卵を使って、実験。</p> | 有 | <p>内容について事前打ち合わせと、事後の振り返りを実施。学校の周辺環境に合ったトラックからの死角の体験を実施することに決定。</p> | 有 | <p>明科地区の通学路には、グリーンベルトや信号機のない横断歩道や交差点が多い。このように、学校の実態に合った内容を扱っていただく意識が高まり、横断歩道の安全意識が挙げる等の行動が確実に実行されている。</p> |
| 10 | 明北小学校 | × | ----- | ----- | | 不明 | 未実施のため |

スケアード・ストレートの交通安全教室について アンケート集約(中学校1)

| No. | 学校名 | H28実施 | 実施内容 | 配慮の有無 | 配慮の実際 | 効果の有無 | 効果 |
|-----|--------|-------|---|-------|--|-------|---|
| 11 | 豊科南中学校 | ○ | 簡単な寸劇を織り交ぜながら衝突場面(事故)を再現し、事故原因や事故予防について説明を実施。 | | 事故再現場面を見たくないことを事前指導した。 | | |
| 12 | 豊科北中学校 | ○ | 全校生徒対象に校庭での実演と指導を実施(主に自転車及び徒歩での登下校中の自動車との接触)約1時間で | 有 | 内容について事前打ち合わせを実施し、特別な配慮が必要かを考え、また、事後の振り返りを実施し反省や来年度以降について検討しあった。 | 有 | 目の前で役者さんが、車や自転車の実際に接触したり衝突されたりすることなどで、事故の怖さを実感することができるといふ点が、大きな効果だと感じる。 ・登下校中の自分たちの姿と照らし合わせて、危険性を実感し、改善点を明確にすることができ、本校では、その後続けて自転車点検及び下校現地指導を行い、指導を実践に繋がっている。 ・専門の方からご指導いただけるとは、より真剣に受け止めることができる。 ・実際の事故の様子をスタントマンに協力してもらいながら再現することで、どんなことに注意すればよいかかが伝わり、日々の安全な登下校に大きな効果をもたらします。 |
| 13 | 穂高東中学校 | ○ | 悪天候のため校庭実施を講堂実施に。トラフィックシスターズの演技を交えた指導を実施。 | 有 | 内容について事前打ち合わせを実施し、特別な配慮が必要かを考え、また、事後の振り返りを実施し反省や来年度以降について検討しあった。 | 有 | ・改正道路法交通法の周知。 ・並進や2人乗りの禁止、左右確認の徹底。 |
| 14 | 穂高西中学校 | ○ | 自転車、自動車等を校庭に持ち込み、交通事故発生の状況を再現しながら、安全指導を実施。 | 有 | 内容について事前打ち合わせを実施し、特別な配慮が必要かを考え、また、事後の振り返りを実施し反省や来年度以降について検討しあった。 | 有 | ・事故の怖さを頭で理解するだけでなく、感覚的にとらえることができる。 ・目の前で事故の様子が実演されるため、どういふ歩行の仕方や自転車の乗り方が危険なのか理解しやすい。 ・実演があるので、集中力が継続しやすい。 |
| 15 | 三郷中学校 | ○ | | 有 | | 有 | |
| 16 | 堀金中学校 | ○ | 歩行者と車、自転車と車、自転車と歩行者との接触事故の様子を実際の実演を通じて、参観した。 | 有 | | 有 | |

スケアード・ストレートの交通安全教室について アンケート集約(中学校2)

| | | | | | | | |
|----|-------|---|---|---|--|---|---|
| 17 | 明科中学校 | ○ | <p>スタンプマンによる事故の再現(交差点を中心に)・歩行者と自転車・自動車と自転車の加害者・被害者 ○小中学生が事故の加害者・被害者になったケースの説明</p> | 有 | <p>内容について事前打ち合わせを実施し、特別な配慮が必要かを考えました。また、事後の振り返りを実施し反響や来年度以降について検討しました。</p> | 有 | <p>・実際に起きたケースを客観的にみることで、自分ごととして考えられたと思われ。そのため、自分の自転車の乗り方などを振り返る感想がいくつも見られた。</p> |
|----|-------|---|---|---|--|---|---|

交通安全教室における「スケアード・ストレート」についてのアンケート結果

◇ 実施後の児童や保護者、教職員の声

<豊科南小>

[児童]

- ・「ちゃんと歩いていても事故に遭うことがあると思い、びっくりした。」「道路は気をつけて歩かなきゃいけないと思った。」

[保護者] 確認できていない。

[職員]

- ・実際の事故や危険な状況を再現することで、事故の怖さ、自分の命は自分で守らないといけない(安全確認など、十分すぎるくらい行わないといけない。)という意識が高まったと思う。

<豊科東小>

- ・現実的に目で見ること、危険な行為がわかりやすかった。
- ・3年間続けて行ったので、高学年は慣れてきてしまった。
- ・実際の車を使っただけだったので、怖かった。

<穂高南小>

[児童]

- ・自転車に乗ることは危険なことが多いから、ルールを守っていく。
- ・交通安全のために、やってはいけないことがわかった。

[教職員]

- ・映像でなく、間近に実際に見ることは、交通安全指導に効果的である。
- ・指導いただいた方の真剣さが子どもたちに伝わり、交通事故防止への気持ちを高めることにつながると思う。
- ・教職員も自分自身の日頃の自動車運転を見返すことができた。

<穂高北小学校>

<<児童>>

- ・交通事故は怖いと思った。飛び出しには十分気をつけようと思った。(多数)

<<保護者>>

特に聞いていません。

<<教職員>>

- ・このような講習は交通事故防止に有効であるかもしれないが、子どもによってとらえ方が様々だと思う。恐怖心から気をつけようと思う子もいれば、逆に興味を持ってしまう子もいる。また、毎年行くと、緊張感が薄れ、講習の効果がなくなってしまう可能性が高い。

<穂高西小>

- ・今回のDVDの内容は好評であり、高学年で行った実験も子どもたちにはすんなりと理解され、よかったという声が聞かれた。昨年度と異なった内容で実施したことがよいという評価もあった。一方で、高学年で視聴したDVDの内容

が、最新の道交法と合っていないという意見があった。この点については、講話の中で話をして子どもたちに注意を促してくれていた。

<堀金小>

- ・危険だということが実感できてよかった。
- ・気をつけているが。その上にもっと気をつけるという必要性を学べた。

<明南小>

- ・グラウンドコンディションのため、体育館での実施となったが、外とでの実施同様わかりやすい内容だった。
- ・低学年と高学年に分けて実施したことで、それぞれの発達段階に応じた情報の提供のされ方が違い、昨年度よりわかりやすかった。
- ・外での実施とは違い（昨年度は外で実施）少しもの足りない感じはあったが、室内でも守らなければならないことや、どの点に注意すればいいのかのポイントがよく分かった。

<豊科北中>

- ・今年度初めての実施であったが、大変熱心に学習に臨むことができ、事故の怖さとともにそれを防ぐ交通安全に対する意識が高まったと感じる（生活記録等）。

<穂高東中>

- ・具体的な姿で危険性を実感できてよかった。

<穂高西中>

- ・（屋内での講習について）実演を交えたり、わかりやすいDVDを放映したりしてくれて、充実した講習会になりました。トラフィックシスターズの方々と協議し、来年度以降の交通安全教室について、内容や雨天時の対応などを検討したい。

<三郷中>

- ・座学よりも事故のこわさが分かって良い。
- ・準備、片づけを団体で行っていただけのため、学校の負担が小さくて良い。
- ・雨天時でも体育館で行う対応をしていただけるのがありがたい。
- ・今後もぜひお願いしたい。

<堀金中>

【生徒】

- ・実際に車とぶつかる瞬間は、ドキッとしました。
- ・自転車の乗り方では、自分も危険な乗り方にあてはまると思いました。気をつけようと思いました。

【教職員】

- ・生徒は事故の怖さについて実感することができた。
- ・どのような事故が起きやすいのかイメージを確かにすることができた。

<明科中>

- ・生徒が直接見て学ぶことができたので、イメージしやすく、わかりやすかった。

- ・リアルな再現と心情に訴えるお話で「命の大切さ」を感じることができた。
- ・小学校時と同じ内容のものを複数回見ないように、小中で連携が必要。

◇ 参加型の交通安全教室として「スケアード・ストレート」についての意見・要望等

<豊科南小>

- ・車中心の社会において、子どもたちに車の怖さ、事故の恐ろしさを感じてもらう意味では効果があると思うが、実際に事故に遭った子や不安の強い子には不安を助長させてしまったり、フラッシュバック等の心配があったりするので十分配慮しないといけないと思います。
- ・こどもへの指導も大切であるし、学校現場でできることは、子どもたちに飛び出さないこと、横断歩道や歩道橋を渡ること、右側通行などのルールを守るといった指導であるが、車社会の現代において車の運転手の方に、より一層安全意識を強く持ってもらうようにする講習・指導の場を増やすことにも力を入れてほしいと思います。

<豊科北小>

- ・左右、前後の確認、手を挙げて横断歩道を渡らないと、危険だということ、命を守る大切さが身をもって感じられるような「スケアード・ストレート」技法をお願いします。

<豊科東小>

- ・予算づけしていただけてありがたいです。毎年でなくてよいかと思います。
- ・専門に演技してくださる運送会社の方たちはすごいと思います。

<徳高南小>

- ・事故を再現した後の話が長く、子どもたちの集中力が途切れてしまったので、要点をしぼって説明していただけるとありがたい。
- ・ヘルメットの大切さがわかる内容も見せていただけるとありがたい。

<徳高北小>

- ・教職員の意見にもあったように、その子の持っている個性によって、恐怖心から気をつけようと思う子もいれば、反対に興味を持って（自分も、スタントマンのように、はねられてもうまくかわせるかもしれない・本当にはねられたらどうなるのだろう？・血が出るところを見てみたい等の興味を持つ子は、本校では聞いていませんが、自分が過去にいた学校では実際にいました。多くは、発達障がいを抱える児童でした）しまう子もいます。現代のゲームブームや発達に問題を抱える児童の多さから考えると、後者のような考えを持つ子に対する児童に対する配慮が難しい現状のようにも思います。だとしたら、このような講習を行っていくのには、慎重になる必要があると、個人的には考えております。

<穂高西小>

- ・屋外、屋内ともに活動してもらえ点ありがたい。スタントによる事故の現場を目の前で見られることは、交通安全意識を高めることにつながると思うので、実施していきたい。

<明南小>

- ・事故に遭うとは、運転者・歩行者がどのような状況なのかを児童がイメージでき、交通ルールを守る姿勢を生み出せるので、定期的にスケアード・ストレートの交通安全教室を取り入れることにより、年1回は開催できるようにしてほしい。

<明北小>

- ・どういったものか、まだあまりよくわからないので、周知をする機会がほしいと思います。

<穂高東中>

- ・毎年同じ実演内容であると効果が少ないため、変化があるとありがたい。
→中学校では大きく3パターンあると、毎年の計画できる。

<穂高西中>

- ・実際に生徒が体感し、常に注意を怠ってはいかないということを実感させてもらえる、中学生にとってはとても貴重なものだと思います。今年度は雨天のため、本物のスケアードストレートができませんでしたが、来年度もぜひ、本校の安全指導に取り入れていきたいと考えています。小学生にとっては、精神的に不安になる児童がいるかもしれません。

<三郷中>

- ・来年度以降も、市の予算で実施をお願いしたい。

<堀金中>

- ・感覚的に事故の怖さを実感できるが、その分、「事故は怖い」という印象が残りすぎて、どういう時に事故が起きやすいかということの印象が薄くなる可能性もある。実演と資料が併用されると、さらに効果的であると感じる。
- ・何回も実演を見ていると、怖さの麻痺につながる可能性もある。どのくらいのスパンで「スケアード・ストレート」を活用するかは、慎重に考える必要がある。本校は年に1回だが、怖さを思い出すという意味では適当であると考えている。

<明科中>

- ・小中学校の9年間の中で、3年に1回の頻度で実施することで、マンネリ化せず、継続して交通安全を意識させることができると思います。